

川内原子力発電所 周辺環境放射線調査結果報告書

(令和 6 年10月～12月)

令和 7 年 3 月



鹿 児 島 県

目 次

は じ め に	1
1 調 査 目 的	1
2 調査（測定・分析）機関	1
3 調 査 期 間	1
4 調 査 項 目	1
5 調 査 方 法	2
(1) 測定方法及び測定機器	2
(2) 単位の表示及び測定値の取扱い	2
6 調 査 結 果	3
(1) 概 要	3
(2) 調 査 結 果	3
7 測 定 結 果	4
表－1 線量率（モニタリングステーション，モニタリングポスト における連続測定：シンチレーション検出器，電離箱検出器）	4
表－2 計数率（放水口ポストにおける連続測定）	8
表－3 線量率（サーベイポイントにおける定期測定）	10
表－4 3か月間積算線量（モニタリングポイント）	11
表－5 環境試料の放射能（総括表）	13
表－6 環境試料の放射能（個別表）	15
8 補 足 参 考	25
参考表 線量率（電子式線量計による連続測定）	25
添付資料	28
資料－1 川内原子力発電所周辺環境放射線調査計画（令和6年度）	29
資料－2 用 語 説 明	47
資料－3 連続測定結果の公開表示	50
資料－4 身のまわりの放射線	52
資料－5 原子力防災対策上の各種基準	56
資料－6 食品衛生法上の基準	57

は じ め に

鹿児島県及び九州電力株式会社は、川内原子力発電所周辺地域の住民の安全確保及び環境保全を図るため、川内原子力発電所周辺環境放射線調査を実施している。

調査は、空間放射線量の測定と環境試料の放射能分析を実施しており、今回、令和6年10月から12月までの調査結果を取りまとめた。

なお、調査結果の検討評価にあたっては、「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（原子力規制庁）等に基づくとともに、学識経験者により構成されている「鹿児島県環境放射線モニタリング技術委員会」の指導・助言を得た。

1 調 査 目 的

川内原子力発電所周辺地域の住民の安全確保及び環境の保全を図るため、次に掲げる目的の下、川内原子力発電所周辺環境における空間放射線量の測定及び環境試料の放射能分析等を実施し、その周辺地域の住民及び環境への影響を評価する。

- (1) 周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価
- (2) 環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- (3) 原子力発電所からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価
- (4) 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え

2 調査（測定・分析）機関

鹿児島県：環境放射線監視センター

九州電力株式会社：川内原子力発電所

3 調 査 期 間

令和6年10月～12月

4 調 査 項 目

空間放射線量

環境試料の放射能

5 調査方法

(1) 測定方法及び測定機器

区 分 項 目			県		九 電	
			測定方法	測 定 機 器	測定方法	測 定 機 器
空間放射線量	線 量 率	モニタリングステーション モニタリングポスト	連 続 測 定 (テレメータ)	3インチNaI (Tl) シンチレーション検出器① (富士電機 NDS3ABB2-AYYYY-S)	連 続 測 定 (テレメータ)	2インチNaI (Tl) シンチレーション検出器 (アロカ ADP-1122)
				球形加圧電離箱検出器 (富士電機 NZU-TK7Q3935C2)① (富士電機 NCE207K1-0YYYY-S)②、③		
	サーベイポイント	—	—	定 期 測 定 (モニタリングカー)	3インチNaI (Tl) シンチレーション検出器 (アロカ ADP-1132)	
		—	—	定 期 測 定	1インチNaI (Tl) シンチレーションサーベイメータ (アロカ TCS-171)	
	計 数 率	放 水 口 ポ ス ト	—	—	連 続 測 定 (テレメータ)	3インチNaI (Tl) シンチレーション検出器 (アロカ ADP-1132)
	3 か月間 積算線量	モニタリングポイント	3 か月間積算 (91日換算値)	蛍光ガラス線量計 (AGCテクノグラス SC-1) 同 リーダ (AGCテクノグラス FGD-201)	3 か月間積算 (91日換算値)	蛍光ガラス線量計 (AGCテクノグラス SC-1) 同 リーダ (AGCテクノグラス FGD-201)
環境試料の放射能	γ 線 放 出 核 種 〔セシウム137, コバルト60〕 ヨウ素131 ＜ γ 線 スペクトロメトリー ＞		放射能測定法 シリーズ (文部科学省等)	Ge半導体検出器 (ORTEC GEM-45) (ORTEC GMX-40) (ORTEC GEM-35P4-70-RB)	放射能測定法 シリーズ (文部科学省等)	Ge半導体検出器 (ORTEC GEM-45) (ORTEC GEM-40) (ORTEC GEM-40P4)
			連続測定 (ダストモニタ)	Ge半導体検出器 (ORTEC GEM-15-70-S)	—	—
	ストロンチウム90 ＜放射化学分析＞		放射能測定法 シリーズ (文部科学省)	2π薄窓フロー型検出器 (リオンテクノロジー・キャンパス S6LB)	放射能測定法 シリーズ (文部科学省)	2π薄窓フロー型検出器 (アロカ LBC-4301) (アロカ LBC-5201)
				低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ (アロカ LSC-LB8)		低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ (アロカ LSC-LB7)
	トリチウム ＜放射化学分析＞					

※ ①：県第1測定局，②：県第2測定局，③：県第3測定局

(2) 単位の表示及び測定値の取扱い

ア 空間放射線量

測定項目	単 位	最小表示位	測定値の取扱い
線 量 率	ナノグレイ nGy/h	1の位	1 最小表示位の1桁以上の数値については，原則として有効数字2桁で表示する。 最小表示位以下の数値については，有効数字1桁で表示する。
計 数 率	シービーエム cpm	10の位	2 3か月間積算線量については，91日に換算する。
3か月間積算線量	ミリグレイ mGy	小数第2位	3 「測定せず」は「—」で表示する。

イ 環境試料の放射能

測定項目	単 位	最小表示位	測定値の取扱い
γ ス線ト放出核種 ウラム90	海 産 生 物 植 物	ベクレル Bq/kg 生	1 最小表示位の1桁以上の数値については，有効数字2桁で表示する。最小表示位以下の数値については，有効数字1桁で表示する。 2 放射能濃度をN，その計数誤差をΔNとすればN<3ΔNの場合は検出されずとする。 3 「検出されず」は「ND」，「測定せず」は「—」で表示する。
	畜産物(牛乳)	ベクレル Bq/L	
	海 底 土 陸 土	ベクレル Bq/kg 乾土	
	海 水 陸 水	ミリベクレル mBq/L	
	浮遊じん	連続エア サンプラー	
		ダストモニタ	
		ダストヨウ素 サンプラー	
	降 下 物	メガベクレル MBq/km ²	
トリチウム	海 水 陸 水	ベクレル Bq/L	小数第1位

6 調 査 結 果

(1) 概要

令和6年10月から12月における調査結果は、空間放射線量及び環境試料の放射能とも、これまでの調査結果と比較して同程度のレベルであり、異常は認められていない。

(2) 調査結果

① 空間放射線量

ア シンチレーション検出器による線量率の連続測定は県第1測定局及び九電測定局計13地点で実施し、その結果は、18～74nGy/h（前回まで18～144nGy/h）の範囲にあり、月平均値は20～38nGy/h（前回まで19～45nGy/h）であった。

電離箱検出器による線量率の連続測定は36地点で実施した。県第1及び第2測定局計22地点の結果は、45～122nGy/h（前回まで44～157nGy/h）の範囲にあり、月平均値は48～91nGy/h（前回まで47～94nGy/h）であった。県第3測定局14地点の結果は、55～106nGy/h（前回まで55～150nGy/h）の範囲にあり、月平均値は58～78nGy/h（前回まで57～80nGy/h）であった。（表－1）
イ 放水口ポストにおける計数率は、420～920cpm（前回まで400～4710cpm）の範囲にあり、月平均値は440～450cpm（前回まで440～600cpm）であった。（表－2）

ウ シンチレーション検出器による線量率の定期測定は25地点で実施し、その結果は25～44nGy/h（前回まで23～51nGy/h）であった。（表－3）

エ 3か月間積算線量の測定は49地点で実施し、その結果は0.10～0.14mGy（前回まで0.09～0.17mGy）であった。（表－4）

② 環境試料の放射能

ア 放射性核種分析は、海洋試料11試料、陸上試料37試料、合計48試料を、Cs-137、Co-60、Sr-90、I-131等について実施した。（表－5、表－6）

調査結果では、Cs-137、Sr-90は一部の試料で検出されたが、Co-60、I-131は調査した全ての試料で検出されなかった。検出されたCs-137、Sr-90は、これまでの調査結果と同程度のレベルであった。

イ トリチウムについては、海水2試料、陸水3試料について実施し、その結果はND（前回までND～6.9Bq/L）であった。（表－5、表－6）

ウ ダストモニタによる放射性核種分析は、Cs-137、Co-60、I-131について1時間毎に実施し、その結果はND（前回までND）であった。（表－5、表－6）

7 測 定 結 果

表－1 線量率（モニタリングステーション、モニタリングポストにおける連続測定）

【シンチレーション検出器】（県第1測定局：7地点、九電測定局：6地点）

（単位：nGy/h）

測 定 地 点	区 分	測 定 値			線量率 範 囲	前回までの 線量率範囲	発電所からの方向・ 距離 (km)	区 分
		10月	11月	12月				
境 界 北 局 (P－P1)	平 均 値	29	30	29	29～ 30	27～ 36	北北東	●
	範 囲	28～ 43	27～ 62	27～ 47	27～ 62	25～144	0.9	
港 局 (K1－ 1)	平 均 値	30	31	30	30～ 31	30～ 38	北北東	○
	範 囲	29～ 41	29～ 52	29～ 46	29～ 52	28～110	2.3	
久 見 崎 局 (K1－ 2)	平 均 値	24	24	24	24	23～ 31	北 東	○
	範 囲	22～ 34	22～ 58	22～ 39	22～ 58	21～112	1.1	
北 門 南 局 (P－S1)	平 均 値	38	38	38	38	36～ 45	東北東	●
	範 囲	36～ 50	36～ 70	36～ 55	36～ 70	34～120	0.7	
境 界 東 局 (P－P2)	平 均 値	29	29	29	29	28～ 36	東南東	●
	範 囲	27～ 42	27～ 66	28～ 45	27～ 66	26～102	0.6	
小 平 局 (K1－ S)	平 均 値	28	28	28	28	27～ 37	南南東	○
	範 囲	26～ 40	27～ 66	27～ 46	26～ 66	25～109	0.8	
南 門 西 局 (P－S2)	平 均 値	33	34	33	33～ 34	32～ 40	南南東	●
	範 囲	31～ 45	31～ 69	31～ 50	31～ 69	30～131	0.5	
上 野 局 (K1－ 3)	平 均 値	31	32	31	31～ 32	29～ 39	南南東	○
	範 囲	29～ 44	30～ 62	29～ 47	29～ 62	27～113	2.3	
境 界 南 局 (P－P3)	平 均 値	28	29	27	27～ 29	26～ 34	南南西	●
	範 囲	26～ 42	26～ 74	26～ 49	26～ 74	24～105	0.7	
寄 田 局 (K1－ 4)	平 均 値	26	27	26	26～ 27	25～ 35	南南西	○
	範 囲	24～ 39	25～ 57	25～ 43	24～ 57	22～124	2.2	
高 江 局 (K1－ 5)	平 均 値	30	31	30	30～ 31	29～ 41	東	○
	範 囲	29～ 43	29～ 59	29～ 46	29～ 59	28～114	5.8	
隈 之 城 局 (K1－ 7)	平 均 値	20	21	20	20～ 21	19～ 23	東南東	○
	範 囲	18～ 41	19～ 54	19～ 42	18～ 54	18～ 80	11.5	
南 防 波 堤 (P－P4)	平 均 値	22	23	22	22～ 23	21～ 25	西南西	●
	範 囲	20～ 31	20～ 50	21～ 36	20～ 50	19～ 62	0.7	
線 量 率 範 囲	平 均 値	20～ 38	21～ 38	20～ 38	20～ 38	19～ 45		
	範 囲	18～ 50	19～ 74	19～ 55	18～ 74	18～144		

（注）区分 ○：県実施 ●：九電実施

【電離箱検出器】（県第1測定局：7地点，第2測定局：15地点）

〔県実施〕

（単位：nGy/h）

測 定 地 点	区 分	測 定 値			線量率 範 囲	前回までの 線量率範囲	発電所からの方向・ 距離（km）
		10月	11月	12月			
港 局 （ K1-1 ）	平 均 値	70	71	70	70～ 71	64～ 73	北北東
	範 囲	68～ 80	68～ 91	69～ 84	68～ 91	61～125	2.3
久 見 崎 局 （ K1-2 ）	平 均 値	59	60	60	59～ 60	57～ 62	北東
	範 囲	57～ 68	57～ 93	58～ 74	57～ 93	54～129	1.1
小 平 局 （ K1-S ）	平 均 値	67	67	67	67	61～ 70	南南東
	範 囲	64～ 79	65～105	65～ 84	64～105	59～128	0.8
上 野 局 （ K1-3 ）	平 均 値	68	68	68	68	67～ 71	南南東
	範 囲	66～ 81	66～100	66～ 83	66～100	61～139	2.3
寄 田 局 （ K1-4 ）	平 均 値	63	64	63	63～ 64	59～ 67	南南西
	範 囲	61～ 76	61～ 95	61～ 80	61～ 95	56～132	2.2
高 江 局 （ K1-5 ）	平 均 値	69	70	70	69～ 70	66～ 72	東
	範 囲	67～ 81	67～ 97	68～ 86	67～ 97	62～133	5.8
隈 之 城 局 （ K1-7 ）	平 均 値	48	49	48	48～ 49	47～ 50	東南東
	範 囲	45～ 66	45～ 78	46～ 68	45～ 78	44～ 95	11.5
唐 山 局 （ K2-1 ）	平 均 値	75	76	75	75～ 76	75～ 80	北北東
	範 囲	73～ 86	73～105	74～ 94	73～105	71～138	3.9
網 津 局 （ K2-2 ）	平 均 値	85	86	85	85～ 86	85～ 93	北東
	範 囲	83～ 96	83～105	83～ 99	83～105	83～155	4.7
水 引 小 局 （ K2-3 ）	平 均 値	83	84	84	83～ 84	83～ 88	東北東
	範 囲	81～ 96	81～112	82～ 99	81～112	76～147	5.4
港 体 育 館 局 （ K2-4 ）	平 均 値	78	79	79	78～ 79	78～ 83	北東
	範 囲	76～ 91	76～106	77～ 95	76～106	73～150	3.1
船 間 島 局 （ K2-5 ）	平 均 値	91	91	91	91	89～ 94	東北東
	範 囲	88～102	89～122	89～109	88～122	84～157	3.0
湯 島 局 （ K2-6 ）	平 均 値	67	68	68	67～ 68	67～ 73	東
	範 囲	64～ 81	65～103	66～ 85	64～103	62～143	4.1
河 口 大 橋 局 （ K2-7 ）	平 均 値	80	80	80	80	80～ 85	東北東
	範 囲	77～ 93	77～116	78～ 98	77～116	75～157	1.5
山 神 田 局 （ K2-8 ）	平 均 値	74	75	74	74～ 75	73～ 78	東南東
	範 囲	72～ 88	72～114	72～ 97	72～114	68～150	6.6
毎 床 局 （ K2-9 ）	平 均 値	78	79	78	78～ 79	78～ 84	南東
	範 囲	76～ 93	75～118	77～ 96	75～118	74～151	5.4

〔県実施〕 (単位：nGy/h)

測 定 地 点	区 分	測 定 値			線量率 範 囲	前回までの 線量率範囲	発電所から の方向・ 距離 (km)
		10月	11月	12月			
山 ノ 口 局 (K2-10)	平 均 値	84	84	84	84	83～ 88	南 3.0
	範 囲	81～ 96	82～116	82～100	81～116	77～135	
里 局 (K2-11)	平 均 値	77	78	78	77～ 78	76～ 82	西 25.7
	範 囲	75～ 88	76～101	76～ 89	75～101	71～125	
下 山 局 (K2-12)	平 均 値	72	73	73	72～ 73	72～ 78	南南東 5.5
	範 囲	70～ 83	69～ 98	71～ 87	69～ 98	69～135	
土 川 局 (K2-13)	平 均 値	86	86	86	86	84～ 90	南 6.1
	範 囲	84～ 97	84～106	85～ 98	84～106	78～131	
羽 島 局 (K2-14)	平 均 値	76	76	76	76	74～ 79	南 8.4
	範 囲	73～ 87	74～ 98	74～ 90	73～ 98	68～119	
大 川 局 (K2-15)	平 均 値	87	88	87	87～ 88	86～ 92	北北東 13.4
	範 囲	86～ 95	85～108	86～ 99	85～108	82～148	
線 量 率 範 囲	平 均 値	48～ 91	49～ 91	48～ 91	48～ 91	47～ 94	
	範 囲	45～102	45～122	46～109	45～122	44～157	

【電離箱検出器】（県第3測定局：14地点）

〔県実施〕

（単位：nGy/h）

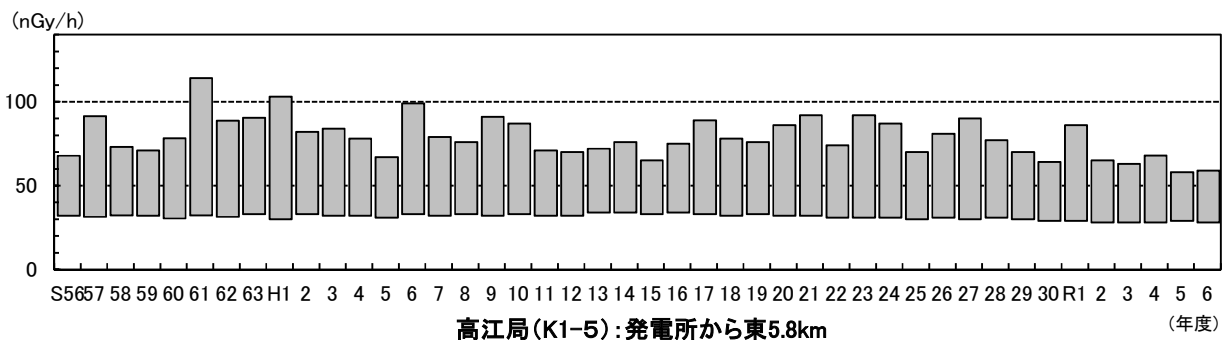
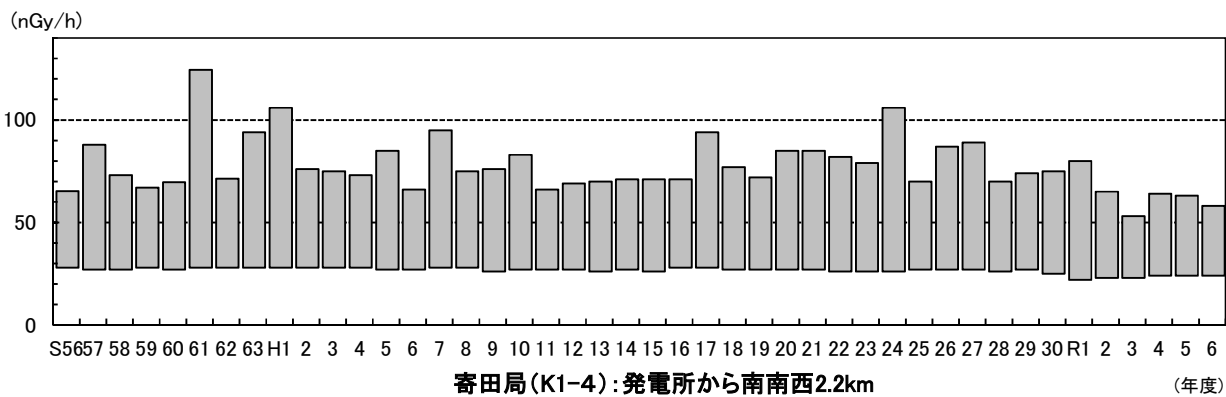
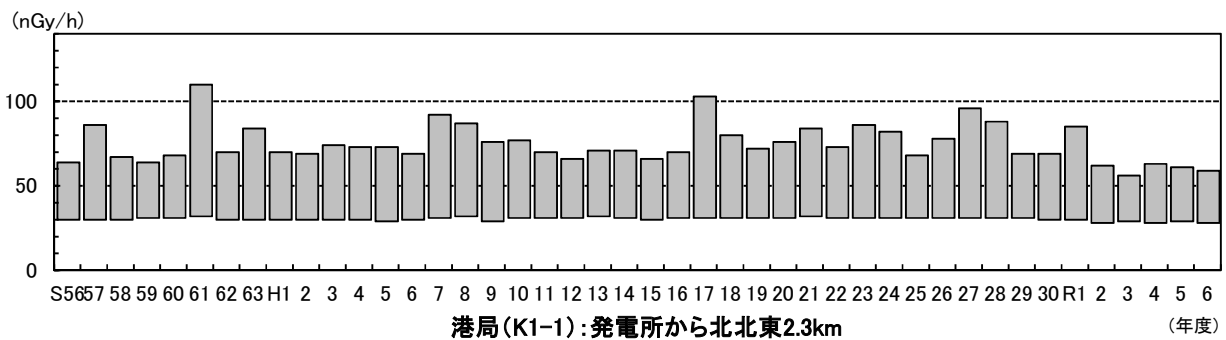
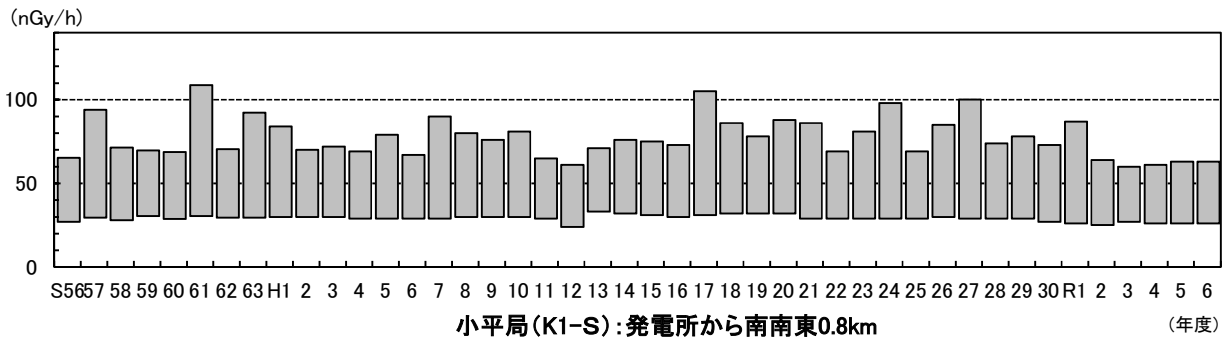
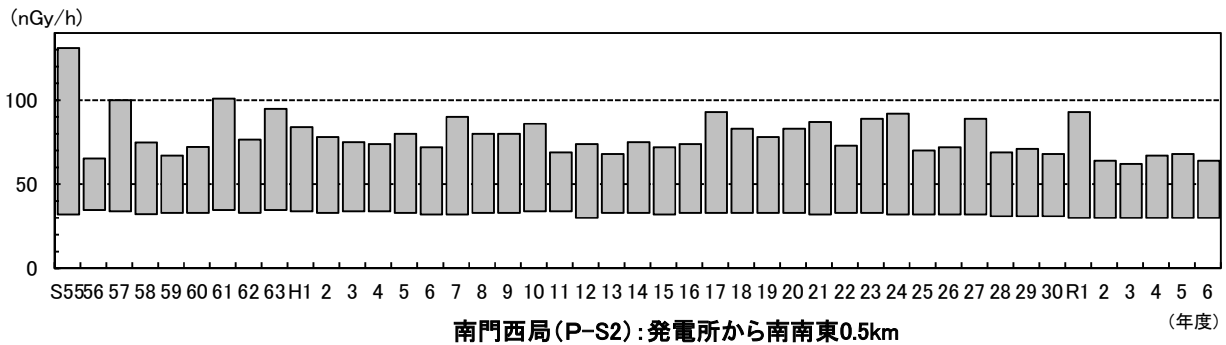
測 定 地 点	区 分	測 定 値			線量率 範 囲	前回までの 線量率範囲	発電所から の方向・ 距離（km）
		10月	11月	12月			
湯 田 局 （ K3-1 ）	平 均 値	59	59	60	59～ 60	59～ 64	北北東
	範 囲	56～ 70	57～ 89	57～ 75	56～ 89	55～120	9.2
陽 成 局 （ K3-2 ）	平 均 値	60	60	60	60	58～ 64	東北東
	範 囲	57～ 73	58～101	58～ 76	57～101	56～130	8.8
高 来 小 局 （ K3-3 ）	平 均 値	61	62	62	61～ 62	59～ 67	東北東
	範 囲	58～ 76	58～ 97	59～ 86	58～ 97	55～134	9.6
樋 脇 小 局 （ K3-5 ）	平 均 値	65	66	66	65～ 66	62～ 69	東
	範 囲	63～ 81	63～102	63～ 83	63～102	59～127	18.7
祁 答 院 中 局 （ K3-8 ）	平 均 値	63	63	63	63	60～ 67	東
	範 囲	60～ 76	60～ 89	61～ 76	60～ 89	57～150	29.2
昭 和 通 局 （ K3-10 ）	平 均 値	66	67	67	66～ 67	66～ 69	南南東
	範 囲	64～ 81	65～ 87	65～ 92	64～ 92	63～103	15.4
鶴 見 局 （ K3-11 ）	平 均 値	62	62	62	62	60～ 68	北
	範 囲	60～ 70	60～ 85	60～ 76	60～ 85	58～110	20.2
長 里 局 （ K3-13 ）	平 均 値	65	66	66	65～ 66	63～ 68	南東
	範 囲	63～ 80	63～ 81	64～ 83	63～ 83	59～125	23.5
郡 局 （ K3-14 ）	平 均 値	67	68	68	67～ 68	66～ 71	南東
	範 囲	64～ 83	65～ 79	65～ 83	64～ 83	63～114	30.0
武 本 局 （ K3-15 ）	平 均 値	69	70	69	69～ 70	67～ 72	北北東
	範 囲	67～ 81	66～106	67～ 82	66～106	62～140	30.1
泊 野 局 （ K3-17 ）	平 均 値	77	78	78	77～ 78	75～ 80	北東
	範 囲	74～ 91	74～ 99	75～ 96	74～ 99	70～141	20.8
田 原 局 （ K3-18 ）	平 均 値	65	65	65	65	62～ 70	東北東
	範 囲	62～ 80	62～ 82	62～ 76	62～ 82	59～127	27.9
常 盤 局 （ K3-19 ）	平 均 値	73	73	73	73	72～ 78	東南東
	範 囲	71～ 88	71～ 97	71～102	71～102	64～121	29.8
山 門 野 局 （ K3-20 ）	平 均 値	58	58	58	58	57～ 62	北
	範 囲	56～ 65	55～ 90	56～ 70	55～ 90	55～116	29.3
線 量 率 範 囲	平 均 値	58～ 77	58～ 78	58～ 78	58～ 78	57～ 80	
	範 囲	56～ 91	55～106	56～102	55～106	55～150	

表－２ 計数率（放水口ポストにおける連続測定）

〔九電実施〕 （単位：cpm）

測 定 地 点	区 分	測 定 値			計 数 率 範 囲	前 回 ま で の 計 数 率 範 囲
		10月	11月	12月		
放 水 口 ポ ス ト	平 均 値	450	440	450	440～450	440～ 600
	範 囲	420～550	420～920	420～670	420～920	400～4710

線量率(年度)範囲の推移(シンチレーション検出器)



表－３ 線量率（サーベイポイントにおける定期測定）

【シンチレーション検出器】

〔九電実施：25地点〕

（単位：nGy/h）

測 定 地 点				測 定 値			線量率範囲	前回までの 線量率範囲
地点名	地点番号	地 区 名		10月	11月	12月		
境界北	P－ 1	薩摩川内市	久見崎町	30	31	30	30～31	27～32
北門北	P－ 2	〃	〃	34	34	32	32～34	30～35
北門南	P－ 3	〃	〃	40	41	40	40～41	32～43
平 尾	P－ 4	〃	〃	35	35	35	35	30～37
境界東	P－ 5	〃	〃	31	34	35	31～35	28～36
山仁田	P－ 6	〃	〃	33	33	34	33～34	27～35
南門西	P－ 7	〃	〃	31	30	30	30～31	28～36
片平山	P－ 8	〃	〃	30	30	30	30	28～33
境界南	P－ 9	〃	〃	28	27	27	27～28	23～29
上 浜※	P－ 11	〃	〃	36	36	36	36	34～39
本馬場	P－ 12	〃	〃	41	42	43	41～43	38～50
宮山池	P－ 13	〃	〃	27	25	27	25～27	25～28
漁協東	P－ 31	〃	港 町	34	32	34	32～34	30～35
岩 下	P－ 32	〃	〃	35	33	34	33～35	31～36
倉 浦	P－ 33	〃	久見崎町	43	44	42	42～44	42～51
上 野	P－ 34	〃	寄 田 町	35	36	35	35～36	34～40
西 池	P－ 35	〃	〃	40	43	40	40～43	37～46
宮 園	P－ 51	〃	網 津 町	39	37	40	37～40	35～44
平 島	P－ 52	〃	湯 島 町	36	37	37	36～37	34～47
瀬戸地	P－ 53	〃	高 江 町	34	36	34	34～36	32～40
毎 床	P－ 54	〃	〃	32	32	32	32	29～34
土 川	P－ 55	〃	寄 田 町	36	36	34	34～36	31～36
北防波堤	P－14S	発 電 所 専 用 防 波 堤		37	39	38	37～39	32～48
南防波堤	P－15S	発 電 所 専 用 防 波 堤		39	39	39	39	37～50
北防波堤	P－16S	発 電 所 専 用 防 波 堤		39	41	39	39～41	30～48
線 量 率 範 囲				27～43	25～44	27～43	25～44	23～51

※ 上浜（P-11）は、測定地点を移設し、令和6年4月から測定開始

表－４　３か月間積算線量（モニタリングポイント）

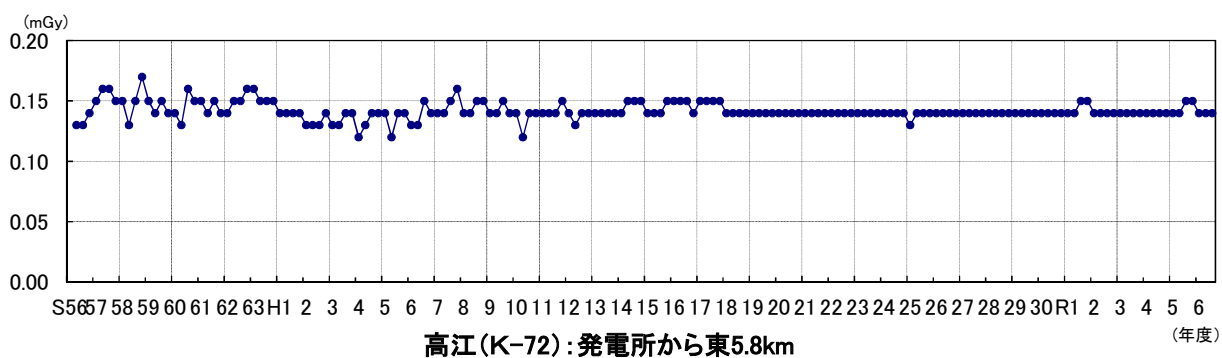
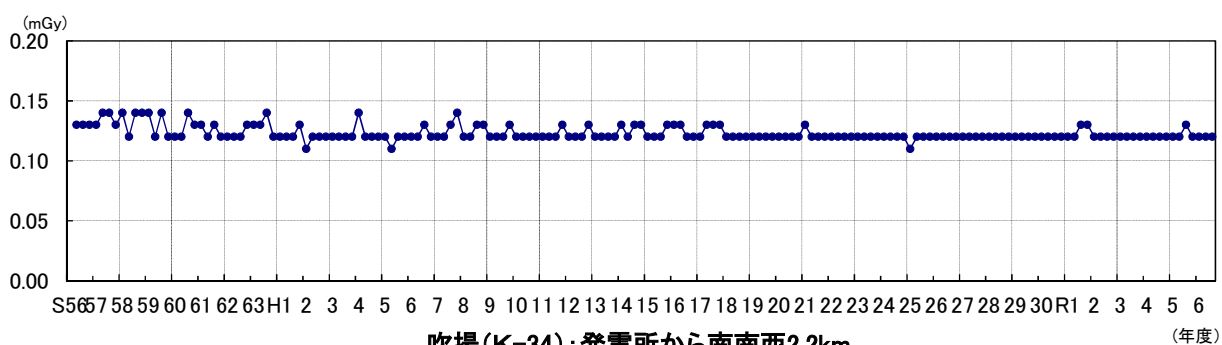
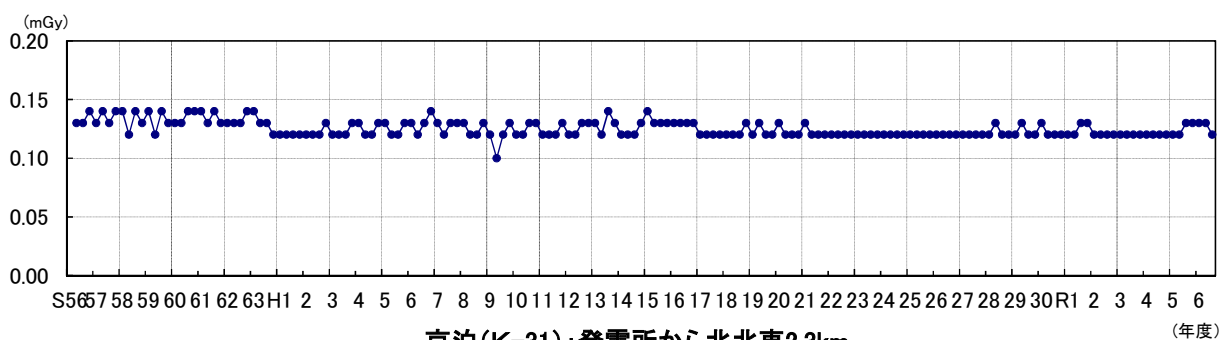
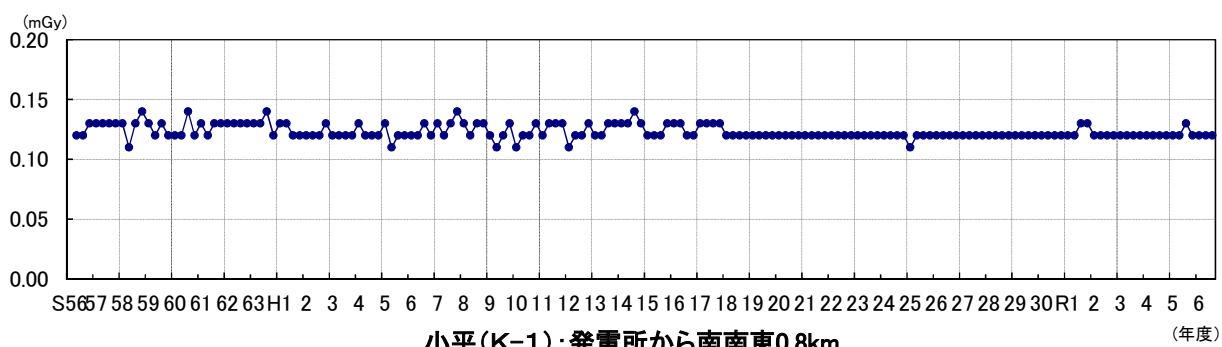
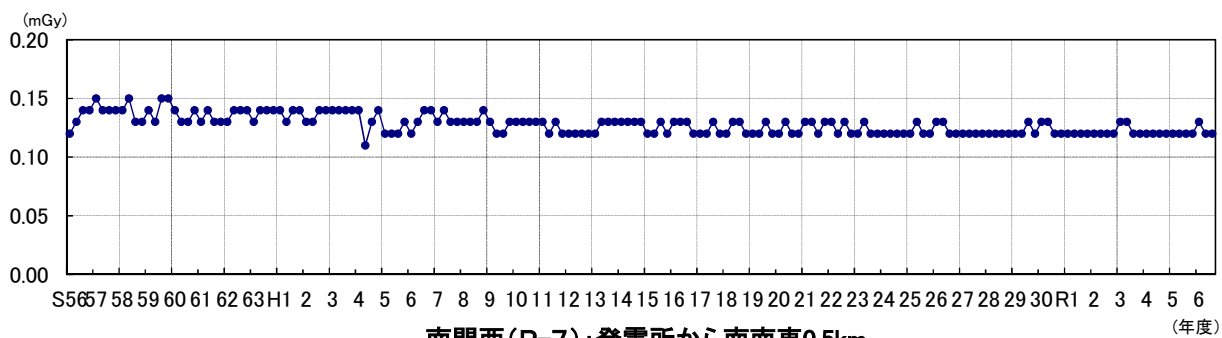
〔県実施：24地点、九電実施：25地点〕（単位：mGy(91日換算値)）

測 定 地 点				測 定 値	前回までの 積算線量範囲	発電所からの		区 分
地 点 名	地点番号	地 区 名		10月～12月		方 向	距離(km)	
小 平	K－ 1	薩摩川内市	久見崎町	0.12	0.11～0.14	南南東	0.8	○
境 界 北	P－ 1	〃	〃	0.10	0.10～0.13	北北東	0.9	●
北 門 北	P－ 2	〃	〃	0.12	0.11～0.14	北東	0.9	●
北 門 南	P－ 3	〃	〃	0.11	0.11～0.14	東北東	0.7	●
平 尾	P－ 4	〃	〃	0.12	0.11～0.15	東	0.6	●
境 界 東	P－ 5	〃	〃	0.12	0.12～0.15	東南東	0.6	●
山 仁 田	P－ 6	〃	〃	0.10	0.09～0.12	南東	0.7	●
南 門 西	P－ 7	〃	〃	0.12	0.11～0.15	南南東	0.5	●
片 平 山	P－ 8	〃	〃	0.10	0.09～0.13	南	0.7	●
境 界 南	P－ 9	〃	〃	0.10	0.10～0.12	南南西	0.7	●
上 浜※	P－ 11	〃	〃	0.11	0.11～0.12	北北東	1.1	●
本 馬 場	P－ 12	〃	〃	0.12	0.12～0.16	東北東	1.5	●
宮 山 池	P－ 13	〃	〃	0.10	0.10～0.13	南	1.0	●
京 泊	K－ 31	〃	港 町	0.12	0.10～0.14	北北東	2.3	○
庵 之 平	K－ 32	〃	久見崎町	0.11	0.10～0.13	北東	1.1	○
水 ケ 段	K－ 33	〃	寄 田 町	0.13	0.12～0.15	南南東	2.3	○
吹 揚	K－ 34	〃	〃	0.12	0.11～0.14	南南西	2.2	○
漁 協 東	P－ 31	〃	港 町	0.12	0.12～0.15	北北東	2.3	●
岩 下	P－ 32	〃	〃	0.11	0.11～0.14	東北東	3.0	●
倉 浦	P－ 33	〃	久見崎町	0.13	0.13～0.17	東	3.2	●
上 野	P－ 34	〃	寄 田 町	0.14	0.12～0.16	南南東	2.2	●
西 池	P－ 35	〃	〃	0.13	0.12～0.15	南	2.7	●
唐 山	K－ 51	〃	港 町	0.11	0.10～0.12	北北東	3.9	○
浜 田	K－ 52	〃	水 引 町	0.12	0.10～0.13	東北東	4.9	○
池 之 段	K－ 53	〃	寄 田 町	0.13	0.11～0.15	南	4.1	○
宮 園	P－ 51	〃	網 津 町	0.13	0.11～0.14	北東	4.7	●
平 島	P－ 52	〃	湯 島 町	0.11	0.11～0.15	東	4.2	●
瀬 戸 地	P－ 53	〃	高 江 町	0.12	0.11～0.15	東南東	5.2	●
毎 床	P－ 54	〃	〃	0.12	0.10～0.14	南東	5.4	●
土 川	P－ 55	〃	寄 田 町	0.12	0.11～0.14	南	6.0	●
高 江	K－ 72	〃	高 江 町	0.14	0.12～0.17	東	5.8	○
山 神 田	K－ 73	〃	〃	0.13	0.12～0.15	東南東	6.6	○
小 ケ 倉	K－ 74	いちき串木野市	羽 島	0.12	0.11～0.14	南南東	6.9	○
砂 岳	K－ 75	薩摩川内市	湯 田 町	0.14	0.13～0.16	北北東	6.9	○
西 方	K－101	〃	西 方 町	0.12	0.11～0.14	北北東	9.6	○
小 園	K－102	〃	陽 成 町	0.14	0.12～0.15	北東	8.7	○
妹 背	K－103	〃	高 城 町	0.13	0.12～0.16	東北東	9.5	○
別 府	K－104	〃	宮 内 町	0.14	0.12～0.15	東	9.3	○
木 場 谷	K－105	〃	青 山 町	0.12	0.11～0.15	東南東	10.3	○
羽 島 浜	K－106	いちき串木野市	羽 島	0.12	0.10～0.13	南	8.4	○
大 河 内	K－108	〃	荒 川	0.13	0.11～0.15	南東	10.8	○
隈 之 城	K－109	薩摩川内市	隈之城町	0.10	0.09～0.10	東南東	11.5	○
水 源 地	K－112	〃	樋 脇 町	0.13	0.11～0.16	東	18.8	○
消 防 署	K－114	いちき串木野市	昭 和 通	0.14	0.12～0.16	南南東	15.4	○
里 公 民 館	K－115	薩摩川内市	里 町	0.14	0.12～0.15	西	25.8	○
東郷公民館	K－116	〃	東 郷 町	0.12	0.12～0.13	東北東	14.5	○
北防波堤	P－14S	発電所専用防波堤		0.11	0.10～0.13	北西	0.6	●
南防波堤	P－15S	発電所専用防波堤		0.11	0.10～0.14	西南西	0.5	●
北防波堤	P－16S	発電所専用防波堤		0.12	0.11～0.14	西北西	0.9	●
積 算 線 量 範 囲				0.10～0.14	0.09～0.17			

(注) 区分 ○：県実施 ●：九電実施

※ 上浜（P-11）は、測定地点を移設し、令和6年4月から測定開始

積算線量の推移



表－５ 環境試料の放射能（総括表）

試料名			核種名	単位	核 種 分 析					
					今回の調査結果		過去５年度の調査結果		前回までの調査結果	
					試料数	測定値	試料数	測定値	試料数	測定値
海洋試料	海産生物	魚類	Cs-137	Bq/kg生	2	0.05, 0.09	49	ND～0.12	406	ND～0.53
			Co- 60		2	ND	49	ND	406	ND
			Sr- 90		1	ND	40	ND～0.03	327	ND～0.58
			I- 131		1	ND	11	ND	79	ND
		軟体類 棘皮類	Cs-137	Bq/kg生	3	ND	43	ND～0.04	399	ND～0.28
			Co- 60		3	ND	43	ND	399	ND
			Sr- 90		2	ND	10	ND～0.03	114	ND～0.77
			I- 131		—	—	5	ND	50	ND
		藻類	Cs-137	Bq/kg生	—	—	15	ND～0.04	202	ND～0.23
			Co- 60		—	—	15	ND	202	ND
			Sr- 90		—	—	14	ND	156	ND～0.38
			I- 131		—	—	15	ND	202	ND
	海水	放水口側	Cs-137	mBq/L	2	1.6, 1.8	33	ND～2.2	263	ND～13
			Co- 60		2	ND	33	ND	263	ND
			Sr- 90		—	—	12	ND～1.2	90	ND～10
			I- 131		2	ND	33	ND	263	ND
			H - 3	Bq/L	1	ND	22	ND～0.3	157	ND～6.6
		取水口側	Cs-137	mBq/L	2	ND, 1.4	33	ND～2.1	263	ND～9.6
			Co- 60		2	ND	33	ND	263	ND
			Sr- 90		—	—	12	0.68～1.2	90	ND～7.8
			I- 131		2	ND	33	ND	263	ND
			H - 3	Bq/L	1	ND	22	ND～0.3	157	ND～6.9
	海底土	放水口側	Cs-137	Bq/kg乾土	1	ND	22	ND	176	ND～1.5
			Co- 60		1	ND	22	ND	176	ND
			Sr- 90		—	—	12	ND	90	ND
		取水口側	Cs-137	Bq/kg乾土	1	ND	22	ND～1.0	176	ND～3.4
			Co- 60		1	ND	22	ND	176	ND
			Sr- 90		—	—	12	ND	90	ND～1.2
陸上試料	植作物	穀類 (米)	Cs-137	Bq/kg生	4	ND～0.41	20	ND～0.64	177	ND～2.5
			Co- 60		4	ND	20	ND	177	ND
			Sr- 90		2	ND	10	ND～0.08	91	ND～0.16
			I- 131		2	ND	10	ND	88	ND
		葉菜類	Cs-137	Bq/kg生	1	ND	21	ND～0.01	176	ND～0.52
			Co- 60		1	ND	21	ND	176	ND
			Sr- 90		1	0.05	10	ND～0.16	91	ND～0.95
			I- 131		1	ND	21	ND	173	ND
		根菜類	Cs-137	Bq/kg生	—	—	11	ND	87	ND～0.12
			Co- 60		—	—	11	ND	87	ND
			Sr- 90		—	—	—	—	1	0.07
		豆類	Cs-137	Bq/kg生	—	—	6	ND～0.04	42	ND～0.20
			Co- 60		—	—	6	ND	42	ND
			I- 131		—	—	6	ND	42	ND

試料名			核種名	単位	核 種 分 析					
					今回の調査結果		過去5年度の調査結果		前回までの調査結果	
					試料数	測定値	試料数	測定値	試料数	測定値
陸上試験	植 物	い も 類	Cs-137	Bq/kg生	2	ND	16	ND～0.11	135	ND～0.37
			Co- 60		2	ND	16	ND	135	ND
			Sr- 90		2	0.03, 0.06	10	ND～0.17	92	ND～0.94
		工芸作物 (茶)	Cs-137	Bq/kg生	—	—	12	0.05～0.12	91	ND～3.4
			Co- 60		—	—	12	ND	91	ND
			Sr- 90		—	—	12	0.03～0.29	91	ND～4.2
			I- 131		—	—	12	ND	91	ND～53
		果 樹 (柑橘類)	Cs-137	Bq/kg生	2	ND, 0.01	10	ND～0.02	86	ND～0.19
			Co- 60		2	ND	10	ND	86	ND
			Sr- 90		1	0.06	5	0.05～0.09	44	0.02～0.73
			I- 131		2	ND	10	ND	86	ND
		牧 草	Cs-137	Bq/kg生	—	—	5	ND～0.05	43	ND～0.52
			Co- 60		—	—	5	ND	43	ND
			Sr- 90		—	—	—	—	1	0.66
			I- 131		—	—	5	ND	43	ND
		松 葉	Cs-137	Bq/kg生	1	0.06	22	ND～0.09	309	ND～2.1
			Co- 60		1	ND	22	ND	309	ND
			Sr- 90		1	1.3	11	0.02～3.3	91	0.02～24
			I- 131		1	ND	22	ND	309	ND～0.79
	畜産物 (牛乳)	Cs-137	Bq/L	1	0.013	41	ND～0.066	345	ND～0.31	
		Co- 60		1	ND	41	ND	345	ND	
		Sr- 90		—	—	12	ND～0.017	93	ND～0.082	
		I- 131		1	ND	41	ND	345	ND～3.4	
	陸 水	Cs-137	mBq/L	4	ND	110	ND	853	ND～16	
		Co- 60		4	ND	110	ND	853	ND	
		Sr- 90		1	0.68	32	ND～1.1	261	ND～11	
		I- 131		4	ND	110	ND	847	ND	
		H - 3	Bq/L	3	ND	99	ND～0.5	705	ND～3.0	
	陸 土	Cs-137	Bq/kg乾土	4	ND～4.0	66	ND～8.7	533	ND～110	
		Co- 60		4	ND	66	ND	533	ND	
		Sr- 90		—	—	24	ND～0.9	190	ND～13	
	浮遊じん	連続エア サンプラー	Cs-137	mBq/m³	5	ND	110	ND	686	ND～1.9
			Co- 60		5	ND	110	ND	686	ND
		HVエア サンプラー	Cs-137	mBq/m³	—	—	—	—	139	ND～0.056
			Co- 60		—	—	—	—	139	ND
		ダスト モニタ	Cs-137	Bq/m³	連続 (1時間値)	ND	連続 (1時間値)	ND	連続 (1時間値)	ND
			Co- 60			ND		ND		ND
			I- 131			ND		ND		ND
		ダストヨウ素 サンプラー	Cs-137	mBq/m³	7	ND	154	ND	322	ND
			Co- 60		7	ND	154	ND	322	ND
			I- 131		7	ND	154	ND	322	ND
	降下物	Cs-137	MBq/km²	6	ND	132	ND	920	ND～9.8	
		Co- 60		6	ND	132	ND	920	ND～0.19	

表-6 環境試料の放射能（個別表）

試 料 名				採取地点	採取年月日	測定部位	単 位	核 種 分 析					区分	
								Cs-137	Co-60	Sr-90	I-131	その他の核種		
海 海 魚 洋 産 試 生 料 物 類			え そ	発 電 所 周辺海域	欠 測	全 身	Bq/kg生	—	—	—	—	—	○	
				〃	(過去5年度)	〃	〃	0.08～ 0.12 [5]	ND [5]	ND [5]	—	—	○	
				〃	(前回まで)	〃	〃	0.07～ 0.53 [42]	ND [42]	ND～ 0.05 [41]	—	—	○	
			へ だ い 「えそ」の 代替試料	発 電 所 周辺海域	R6. 12. 11	全 身	Bq/kg生	0.05	ND	ND	—	—	○	
			し ら す (ちりめん)	発 電 所 周辺海域	欠 測	全 身	Bq/kg生	—	—	—	—	—	●	
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 0.06 [16]	ND [16]	ND [12]	—	—	○●	
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 0.27 [131]	ND [131]	ND～ 0.30 [92]	—	—	○●	
			ひ ら め	発 電 所 周辺海域	R6. 12. 10	全 身	Bq/kg生	0.09	ND	—	ND	—	●	
				〃	(過去5年度)	〃	〃	0.07～ 0.12 [11]	ND [11]	ND [6]	ND [11]	—	●	
				〃	(前回まで)	〃	〃	0.07～ 0.47 [82]	ND [82]	ND～ 0.09 [43]	ND [79]	—	●	
			軟 体	む ら さ き い ん こ	発 電 所 近隣沿岸	R6. 11. 14	身 (軟体部)	Bq/kg生	ND	ND	ND	—	—	○
					〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [5]	ND [5]	ND [5]	—	—	○
					〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 0.04 [68]	ND [68]	ND～ 0.03 [43]	—	—	○
				こ う い か	発 電 所 周辺海域	R6. 12. 24	甲を除く 全 身	Bq/kg生	ND	ND	—	—	—	●
					〃	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 0.04 [22]	ND [22]	—	—	—	○●
					〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 0.11 [169]	ND [169]	ND [3]	—	—	○●

(注) 1 区 分 ○：県実施 ●：九電実施
2 核種分析 [] 内の数字は試料数を示す。

試料名				採取地点	採取年月日	測定部位	単位	核種分析					区分
								Cs-137	Co-60	Sr-90	I-131	その他の核種	
海洋試料	海産生物類	なまこ	発電所 周辺海域	R6. 10. 31	全身	Bq/kg生	ND	ND	ND	—	—	—	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [10]	ND [10]	ND～ 0.03 [5]	ND [5]	—	—	●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 0.20 [86]	ND [86]	ND～ 0.03 [46]	ND [40]	—	—	●
	海水	放水口側	放水口	R6. 11. 7	表層水	mBq/L (H-3 Bq/L)	1.8	ND	—	ND	ND	H-3 ND	○
			〃	R6. 11. 7	〃	〃	1.6	ND	—	ND	ND	H-3 —	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 2.2 [33]	ND [33]	ND～ 1.2 [12]	ND [33]	ND [22]	H-3 ND～ 0.3 [22]	○●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 13 [263]	ND [263]	ND～ 10 [90]	ND [263]	ND [157]	H-3 ND～ 6.6 [157]	○●
		取水口側	取水口	R6. 11. 7	表層水	mBq/L (H-3 Bq/L)	1.4	ND	—	ND	ND	H-3 ND	○
			〃	R6. 11. 7	〃	〃	ND	ND	—	ND	ND	H-3 —	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 2.1 [33]	ND [33]	0.68～ 1.2 [12]	ND [33]	ND [22]	H-3 ND～ 0.3 [22]	○●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 9.6 [263]	ND [263]	ND～ 7.8 [90]	ND [263]	ND [157]	H-3 ND～ 6.9 [157]	○●
	海底土	放水口側	放水口	R6. 11. 7	表層土	Bq/kg乾土	ND	ND	—	—	—	—	○
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	ND [12]	—	—	—	○●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 1.5 [176]	ND [176]	ND [90]	—	—	—	○●
		取水口側	取水口	R6. 11. 7	表層土	Bq/kg乾土	ND	ND	—	—	—	—	○
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 1.0 [22]	ND [22]	ND [12]	—	—	—	○●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 3.4 [176]	ND [176]	ND～ 1.2 [90]	—	—	—	○●
陸上試料	植穀物類	米	高江町	R6. 10. 24	玄米	Bq/kg生	0.03	ND	ND	ND	ND	—	○
			水引町	R6. 10. 25	〃	〃	ND	ND	—	—	—	—	○

試料名				採取地点	採取年月日	測定部位	単位	核種分析					区分
								Cs-137	Co-60	Sr-90	I-131	その他の核種	
陸上試験	植穀類	米	久見崎町	R6. 10. 28	玄 米	Bq/kg生	0. 04	ND	ND	ND	ND	—	●
			寄 田 町	R6. 10. 29	〃	〃	0. 41	ND	—	—	—	—	●
			高 江 町 水 引 町 寄 田 町 久見崎町	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 0. 64 [20]	ND [20]	ND～ 0. 08 [10]	ND [10]	—	—	○●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 2. 5 [177]	ND [177]	ND～ 0. 16 [91]	ND [88]	—	—	○●
	葉菜類	ほうれん そ う	久見崎町	R6. 11. 28	地上部	Bq/kg生	ND	ND	0. 05	ND	ND	—	●
			寄 田 町 久見崎町	(過去5年度)	〃	〃	ND [16]	ND [16]	0. 03～ 0. 13 [5]	ND [16]	—	—	●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 0. 52 [130]	ND [130]	0. 03～ 0. 95 [45]	ND [130]	—	—	●
	いも甘しょ類		寄 田 町	R6. 10. 1	塊根部	Bq/kg生	ND	ND	0. 06	—	—	—	●
			宮 里 町	R6. 11. 6	〃	〃	ND	ND	0. 03	—	—	—	○
			宮 里 町 寄 田 町	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 0. 11 [10]	ND [10]	ND～ 0. 17 [10]	—	—	—	○●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 0. 37 [89]	ND [89]	ND～ 0. 94 [89]	—	—	—	○●
	果物樹	ぼんかん	寄 田 町	R6. 12. 16	果肉部	Bq/kg生	0. 01	ND	0. 06	ND	ND	—	○
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 0. 02 [5]	ND [5]	0. 05～ 0. 09 [5]	ND [5]	—	—	○
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 0. 02 [23]	ND [23]	0. 02～ 0. 09 [23]	ND [23]	—	—	○
		みかん	青 山 町	R6. 10. 15	果肉部	Bq/kg生	ND	ND	—	ND	ND	—	○
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 0. 01 [5]	ND [5]	—	ND [5]	—	—	○
			久見崎町 青 山 町	(前回まで)	〃	〃	ND～ 0. 19 [63]	ND [63]	0. 02～ 0. 73 [21]	ND [63]	—	—	○

(注) 1 区 分 ○：県実施 ●：九電実施
2 核種分析 [] 内の数字は試料数を示す。

試料名			採取地点	採取年月日	測定部位	単位	核種分析					区分
							Cs-137	Co-60	Sr-90	I-131	その他の核種	
陸上 試料	植 物	松葉	寄田町	R6.10.17	二年葉	Bq/kg生	0.06	ND	1.3	ND	—	○
			寄田町 久見崎町	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 0.09 [22]	ND [22]	0.02～ 3.3 [11]	ND [22]	—	○●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 2.1 [309]	ND [309]	0.02～ 24 [91]	ND～ 0.79 [309]	—	○●
	畜 産 物	牛乳	中村町	R6.11.19	原乳	Bq/L	0.013	ND	—	ND	—	○
			宮里町 中村町	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 0.066 [41]	ND [41]	ND～ 0.017 [12]	ND [41]	—	○●
			宮里町 中村町 青山町 隈之城町	(前回まで)	〃	〃	ND～ 0.31 [345]	ND [345]	ND～ 0.082 [93]	ND～ 3.4 [345]	—	○●
	陸 水	道	寄田町	R6.11.14	地下水	mBq/L (H-3 Bq/L)	ND	ND	—	ND	H-3 ND	○
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	ND [6]	ND [22]	H-3 ND [22]	○
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND [173]	ND [173]	ND～ 0.17 [44]	ND [173]	H-3 ND～ 2.4 [172]	○
		原	田海町	R6.10.10	表層水	mBq/L (H-3 Bq/L)	ND	ND	—	ND	H-3 ND	○
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	0.41～ 0.82 [6]	ND [22]	H-3 ND～ 0.3 [22]	○
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND [136]	ND [136]	0.36～ 1.2 [34]	ND [136]	H-3 ND～ 0.7 [136]	○
		水	いちき 串木野市 羽島	R6.10.9	表層水	mBq/L (H-3 Bq/L)	ND	ND	0.68	ND	H-3 ND	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	0.67～ 1.0 [5]	ND [22]	H-3 ND [22]	●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND [144]	ND [144]	0.67～ 3.0 [36]	ND [144]	H-3 ND～ 1.7 [142]	●
	河 川 水	川内川水	高江町	R6.10.1	表層水	mBq/L (H-3 Bq/L)	ND	ND	—	ND	—	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	0.69～ 1.0 [5]	ND [22]	H-3 ND～ 0.5 [11]	●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 16 [177]	ND [177]	ND～ 9.3 [46]	ND [177]	H-3 ND～ 1.0 [71]	●

試料名				採取地点	採取年月日	測定部位	単位	核種分析					区分
								Cs-137	Co-60	Sr-90	I-131	その他の核種	
上 試料	陸 表層土	モニタリングステーション (P-S1)	久見崎町 樋之口 北門南局	R6.11.8	表層土	Bq/kg乾土	0.7	ND	—	—	—	—	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 0.7 [11]	ND [11]	0.2～ 0.6 [6]	—	—	—	●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 5.9 [89]	ND [89]	ND～ 1.4 [46]	—	—	—	○●
		モニタリングステーション (P-S2)	久見崎町 片平山 南門西局	R6.11.8	表層土	Bq/kg乾土	ND	ND	—	—	—	—	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [11]	ND [11]	—	—	—	—	●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND [89]	ND [89]	ND [2]	—	—	—	●
		諏訪神社 境内	久見崎町	R6.11.8	表層土	Bq/kg乾土	ND	ND	—	—	—	—	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND～ 1.8 [22]	ND [22]	0.4～ 0.8 [6]	—	—	—	○●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 15 [176]	ND [176]	ND～ 11 [48]	—	—	—	○●
	池 底土	宮山池底土	久見崎町 宮山池	R6.11.11	表層土	Bq/kg乾土	4.0	ND	—	—	—	—	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	3.7～ 8.7 [11]	ND [11]	0.7～ 0.9 [6]	—	—	—	●
			〃	(前回まで)	〃	〃	0.9～ 110 [90]	ND [90]	0.5～ 9.1 [47]	—	—	—	●
	浮遊 じん	連続エアサンプラー	久見崎町 小平局	R6.9.30 ～ 10.31	ろ紙	mBq/m ³	ND	ND	—	—	—	—	○
			〃	R6.10.31 ～ 11.28	〃	〃	ND	ND	—	—	—	—	○
			〃	R6.11.28 ～ 12.27	〃	〃	ND	ND	—	—	—	—	○
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [66]	ND [66]	—	—	—	—	○
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 1.3 [336]	ND [336]	—	—	—	—	○

(注) 1 区分 ○：県実施 ●：九電実施
2 核種分析 [] 内の数字は試料数を示す。

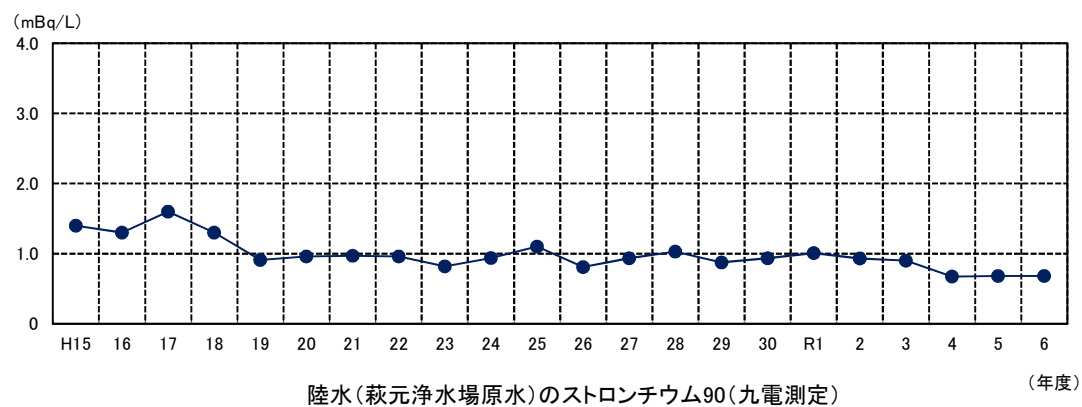
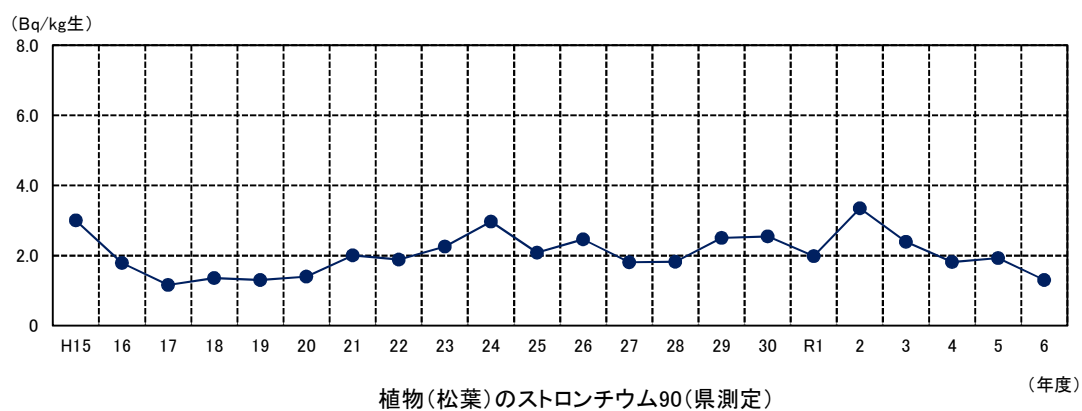
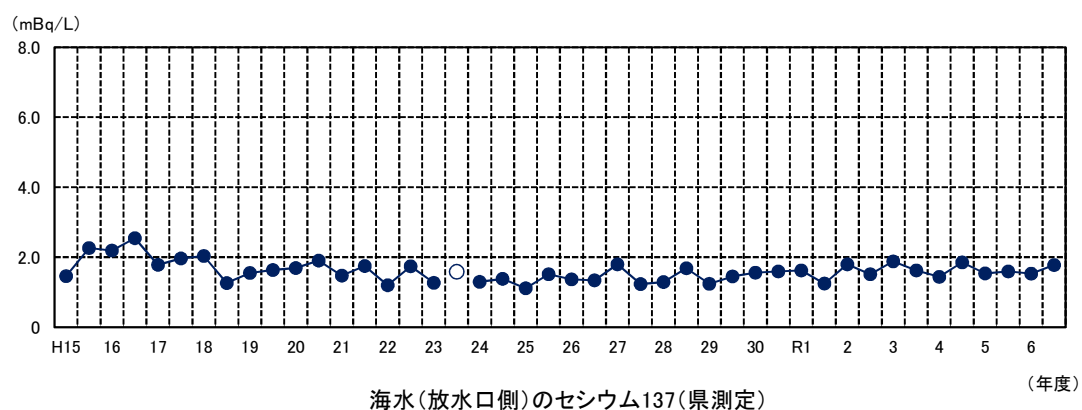
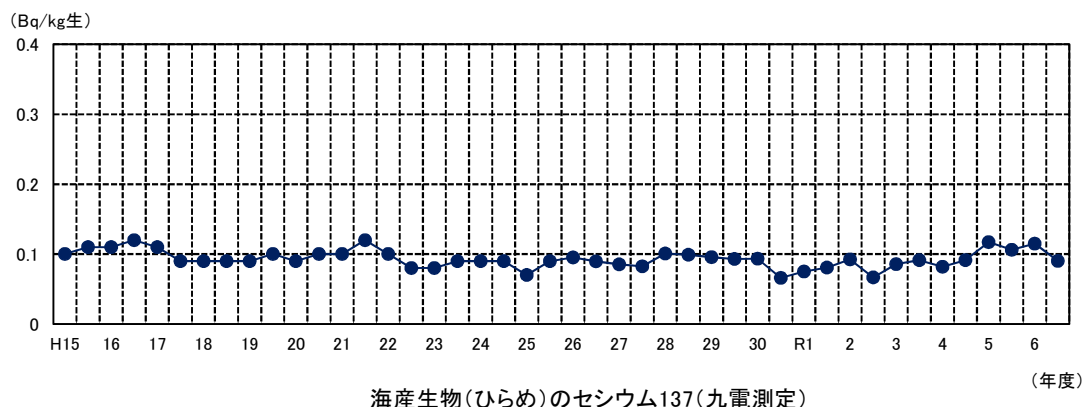
試料名				採取地点	採取年月日	測定部位	単位	核種分析					区分
								Cs-137	Co-60	Sr-90	I-131	その他の核種	
陸上遊試料	浮遊	連続エアサンプラー	モニタリングステーション (P-S1)	久見崎町樋之口北門南局	R6. 9. 30 ～ 12. 23	ろ紙	mBq/m ³	ND	ND	—	—	—	●
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	—	—	●
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND～1.9 [175]	ND [175]	—	—	—	●
		ダストモニタ	モニタリングステーション (K1-S)	久見崎町小平局	R6. 9. 30 ～ 12. 23	ろ紙	mBq/m ³	ND	ND	—	—	—	●
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	—	—	●
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND～1.8 [175]	ND [175]	—	—	—	●
	じん	ダスト	モニタリングステーション (K1-S)	久見崎町小平局	R6. 10. 1 ～ 12. 31	ろ紙	Bq/m ³	ND連続 (1時間値)	ND連続 (1時間値)	—	ND連続 (1時間値)	—	○
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND連続 (1時間値)	ND連続 (1時間値)	—	ND連続 (1時間値)	—	○
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND連続 (1時間値)	ND連続 (1時間値)	—	ND連続 (1時間値)	—	○
		ダスト	モニタリングステーション (K1-S)	久見崎町小平局	R6. 12. 3 ～ 12. 4	ろ紙＋活性炭カートリッジ	mBq/m ³	ND	ND	—	ND	—	○
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	ND [22]	—	○
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND [46]	ND [46]	—	ND [46]	—	○
		ヨウ素	モニタリングポスト (K1-1)	港港局	R6. 12. 3 ～ 12. 4	ろ紙＋活性炭カートリッジ	mBq/m ³	ND	ND	—	ND	—	○
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	ND [22]	—	○
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND [46]	ND [46]	—	ND [46]	—	○
	材料	ブロー	モニタリングポスト (K1-2)	久見崎町久見崎局	R6. 12. 3 ～ 12. 4	ろ紙＋活性炭カートリッジ	mBq/m ³	ND	ND	—	ND	—	○
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	ND [22]	—	○
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND [46]	ND [46]	—	ND [46]	—	○

試料名				採取地点	採取年月日	測定部位	単位	核種分析					区分
								Cs-137	Co-60	Sr-90	I-131	その他の核種	
陸上試験	浮遊物質	ダスト	モニタリングポスト (K1-3)	寄田町 上野局	R6. 12. 3 ～ 12. 4	ろ紙＋ 活性炭 カートリッジ	mBq/m ³	ND	ND	—	ND	—	○
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	ND [22]	—	○
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND [46]	ND [46]	—	ND [46]	—	○
		トヨウ素	モニタリングポスト (K1-4)	寄田町 寄田局	R6. 12. 3 ～ 12. 4	ろ紙＋ 活性炭 カートリッジ	mBq/m ³	ND	ND	—	ND	—	○
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	ND [22]	—	○
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND [46]	ND [46]	—	ND [46]	—	○
		サンプ	モニタリングポスト (K1-5)	高江町 高江局	R6. 12. 3 ～ 12. 4	ろ紙＋ 活性炭 カートリッジ	mBq/m ³	ND	ND	—	ND	—	○
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	ND [22]	—	○
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND [46]	ND [46]	—	ND [46]	—	○
		ランド	モニタリングポスト (K1-7)	隈之城町 隈之城局	R6. 12. 3 ～ 12. 4	ろ紙＋ 活性炭 カートリッジ	mBq/m ³	ND	ND	—	ND	—	○
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	ND [22]	—	○
				〃	(前回まで)	〃	〃	ND [22]	ND [22]	—	ND [22]	—	○
	降下物		R6年10月	寄田町 寄田局	R6. 9. 30 ～ 10. 31	全量	MBq/km ²	ND	ND	—	—	—	○
			R6年11月	〃	R6. 10. 31 ～ 11. 28	〃	〃	ND	ND	—	—	—	○
			R6年12月	〃	R6. 11. 28 ～ 12. 27	〃	〃	ND	ND	—	—	—	○
				〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [66]	ND [66]	—	—	—	○
				久見崎町 小平町 寄田局 寄田局	(前回まで)	〃	〃	ND～ 9. 8 [518]	ND～ 0. 19 [518]	—	—	—	○

(注) 1 区分 ○：県実施 ●：九電実施
2 核種分析 [] 内の数字は試料数を示す。

試料名			採取地点	採取年月日	測定部位	単位	核種分析					区分
							Cs-137	Co-60	Sr-90	I-131	その他の核種	
陸上 試験 料	降下 物	R6年10月	久見崎町 片平山 南門西局	R6. 9. 30 ～ 10. 31	全量	MBq/km ²	ND	ND	—	—	—	●
		R6年11月	〃	R6. 10. 31 ～ 11. 29	〃	〃	ND	ND	—	—	—	●
		R6年12月	〃	R6. 11. 29 ～ 12. 27	〃	〃	ND	ND	—	—	—	●
			〃	(過去5年度)	〃	〃	ND [66]	ND [66]	—	—	—	●
			〃	(前回まで)	〃	〃	ND～ 1.4 [402]	ND [402]	—	—	—	●

環境試料の放射能の推移



○は検出下限値未満で「検出されず」を意味するが、グラフには検出下限値として図示する。

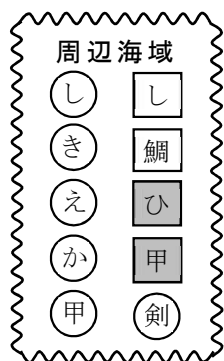
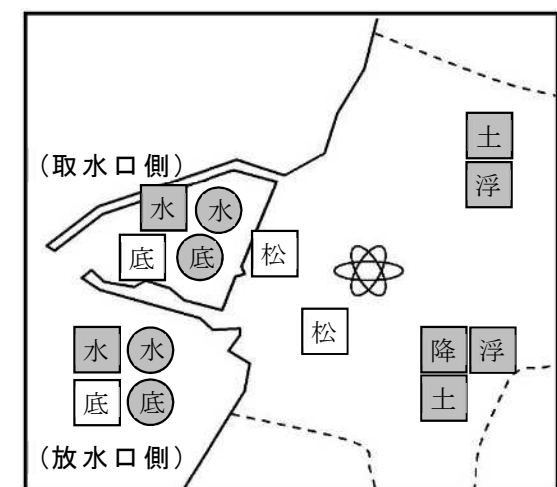
環境試料採取地点

(網掛けが今回調査した試料)

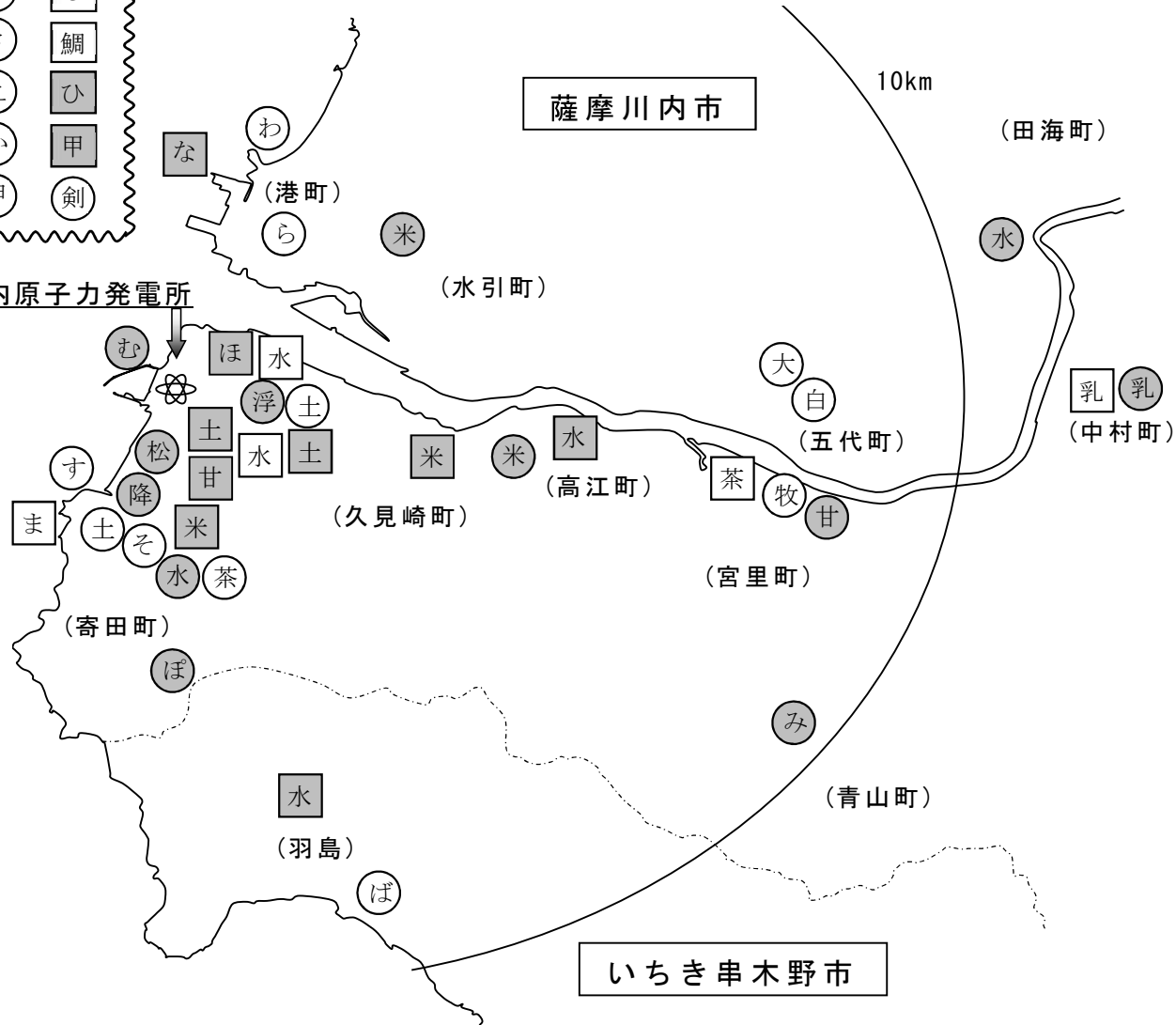
凡 例

記号	試料名	記号	試料名
し	しらす(ちりめん)	白	白菜
き	きびなご	ほ	ほうれんそう
え	えそ	ら	らっきょう
か	かわはぎ	大	大根
鯛	たい	そ	そらまめ
ひ	ひらめ	甘	甘しょ
甲	こういか	ば	ばれいしょ
剣	けんさきいか	茶	茶
な	なまこ	ぼ	ぼんかん
む	むらさきいんこ	み	みかん
わ	わかめ	牧	牧草
す	すじあおのり	松	松葉
ま	まふのり	乳	牛乳
底	海底土	土	陸土
水	海水、陸水	浮	浮遊じん
米	米	降	降下物

○ : 県実施, □ : 九電実施



川内原子力発電所



8 補 足 参 考

参考表 線量率（電子式線量計による連続測定）

【シリコン半導体検出器】

〔県実施：64地点〕

（単位： $\mu\text{Sv/h}$ ）

測 定 地 点		区 分	測 定 値			線量率 範 囲	前回までの 線量率範囲	発電所からの		区 分
地 点 名	地点番号		10月	11月	12月			方 向	距離(km)	
西 目	N -17	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北	17.1	△
赤 瀬 川	N -23	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北	22.8	○
折 多	N -25	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北	25.4	△
三 笠	N -28	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北	27.5	○
鶴 川 内	NNE-19	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北北東	18.9	□
尾 崎	NNE-20	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北北東	19.6	△
田 代	NNE-21	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北北東	21.0	△
下 特 手	NNE-23	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北北東	23.4	○
浦	NNE-27a	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北北東	26.6	○
高 尾 野	NNE-27b	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北北東	27.3	△
木 牟 礼	NNE-29	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北北東	28.6	○
西 出 水	NNE-30	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北北東	30.0	○
吉 川	NE -13	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北東	13.2	△
宇都川路	NE -14	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北東	14.1	○
東郷藤川	NE -16	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北東	15.7	○
宇 都 塚	NE -22	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北東	22.2	○
定 之 段	NE -28	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北東	28.2	□
紫 尾 峠	NE -29a	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北東	28.6	○
柊 野	NE -29b	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	北東	29.2	△
八 幡	ENE-13	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東北東	12.9	○
穴 野	ENE-15	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東北東	14.7	△
鳥 丸	ENE-18	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東北東	18.4	○
山 田	ENE-20	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東北東	19.8	△
白 男 川	ENE-23	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東北東	23.2	○
平 川	ENE-24	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東北東	24.1	○
紫 尾	ENE-27	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東北東	27.0	○
流 水	ENE-29	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東北東	28.8	○
亀 山	E - 9	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	8.5	○
神 田	E -11	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	11.2	△
育 英	E -12	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	12.0	△
天 辰	E -13	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	13.4	△
斧 渕	E -16	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	16.2	○
南 瀬	E -19	範 囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	19.0	□

区分 範囲：当該月の1時間値の範囲

○：平成30年度から測定開始，△：令和5年度から測定開始，□：令和6年度から測定開始

〔県実施〕 (単位: $\mu\text{Sv/h}$)

測定地点		区分	測定値			線量率 範囲	前回までの 線量率範囲	発電所からの		区分
地点名	地点番号		10月	11月	12月			方向	距離(km)	
山崎	E -23a	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	23.2	○
副田	E -23b	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	23.4	○
轟	E -27a	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	26.6	○
朝陽	E -27b	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	26.6	○
藺牟田	E -29	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東	28.6	○
青山	ESE-11	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	11.0	□
永利	ESE-15	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	14.6	△
山中	ESE-18	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	17.6	○
野下	ESE-20	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	19.8	□
市比野	ESE-21	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	21.1	△
八重	ESE-23	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	23.1	○
藤本滝	ESE-24	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	23.7	○
入来峠	ESE-27a	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	27.2	○
八重棚田	ESE-27b	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	27.4	○
八重山	ESE-29	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	29.0	△
大山	ESE-31	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	東南東	31.1	△
旭	SE -14	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南東	13.5	△
上名	SE -15	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南東	15.4	△
冠嶽	SE -18	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南東	18.0	○
川上	SE -19	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南東	18.5	○
高山	SE -24	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南東	23.5	○
上市来	SE -26	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南東	25.8	△
美山	SE -27	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南東	26.7	○
伊集院北	SE -29	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南東	29.1	○
荒川	SSE-11	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南南東	11.0	□
市来	SSE-19	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南南東	19.1	△
住吉	SSE-29	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	南南東	29.3	△
長浜	WSW-46	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	西南西	45.6	△
手打	WSW-51	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	西南西	50.7	△
江石	W -30	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	西	30.0	△
鹿島	W -38	範囲	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	西	38.4	△
線量率範囲			<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2			

測定機器: アロカ PDM-501R1, 富士電機 NSD43002-0DYYY-S

※ 電子式線量計は、原子力災害時の防護措置の判断に活用することを目的とした測定機器であり、
 $0.2 \mu\text{Sv/h}$ 未満の測定値については、精度保証外のため「<0.2」と表記する。

添付資料

- | | |
|------|--------------------------------|
| 資料－１ | 川内原子力発電所周辺環境放射線調査計画
(令和６年度) |
| 資料－２ | 用 語 説 明 |
| 資料－３ | 連続測定結果の公開表示 |
| 資料－４ | 身のまわりの放射線 |
| 資料－５ | 原子力防災対策上の各種基準 |
| 資料－６ | 食品衛生法上の基準 |

資料— 1 川内原子力発電所周辺環境放射線調査計画（令和 6 年度）

1 調査目的

川内原子力発電所周辺地域の住民の安全確保及び環境の保全を図るため、次に掲げる目的の下、川内原子力発電所周辺環境における空間放射線量の測定及び環境試料の放射能分析等を実施し、その周辺地域の住民及び環境への影響を評価する。

- (1) 周辺住民等の被ばく線量の推定及び評価
- (2) 環境における放射性物質の蓄積状況の把握
- (3) 原子力発電所からの予期しない放射性物質又は放射線の放出の早期検出及び周辺環境への影響評価
- (4) 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え

2 調査（測定・分析）機関

調査は、鹿児島県及び九州電力株式会社が分担して実施する。

3 調査内容

(1) 空間放射線量の測定

測定局における線量率連続測定（表－ 1， 2） 42地点
放水口における計数率連続測定（表－ 3） 1 地点
サーベイポイントにおける線量率定期測定（表－ 4） 25地点
3 か月間積算線量測定（表－ 5） 49地点

(2) 環境試料の放射能分析（表－ 6）

γ 線スペクトロメトリー（セシウム137，コバルト60） 61種類 173試料
γ 線スペクトロメトリー（ヨウ素131） 34種類 88試料
放射化学分析（ストロンチウム90） 37種類 43試料
放射化学分析（トリチウム） 8 種類 26試料

(3) 陸土及び陸水の放射能分析（表－ 7）

γ 線スペクトロメトリー（セシウム137，コバルト60） 12種類 12試料
γ 線スペクトロメトリー（ヨウ素131） 2 種類 2 試料
放射化学分析（ストロンチウム90） 12種類 12試料
放射化学分析（トリチウム） 2 種類 2 試料
放射化学分析（プルトニウム238，プルトニウム239+240） . . . 10種類 10試料

4 調査方法

- (1) 測定方法及び測定機器（表－ 8）
- (2) 単位及び測定値の取扱い（表－ 9）

5 評価及び公表

(1) 評価

調査結果の評価は「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（原子力規制庁）等に基づくとともに、学識経験者で構成されている「鹿児島県環境放射線モニタリング技術委員会」の指導・助言を得て行う。

(2) 評価基準

調査結果の評価は「平常の変動幅」との比較によって行う。「平常の変動幅」は、空間放射線量については「過去の測定値範囲」とし、環境試料の放射能については「過去の測定値範囲」及び「過去5年度及び当該年度の測定値範囲」とする。

(3) 公表

調査結果の公表は、四半期報及び年報によって行う。

モニタリングポストなどの空間放射線測定局、放水口ポスト等のデータについては、テレメータシステムによりリアルタイムでホームページに公表する。

6 補足参考

緊急時モニタリングへの移行に迅速に対応するため、平常時から電子式線量計による線量率連続測定を実施する（参考表）。

表－１ 測定局における線量率連続測定地点（県第１，２測定局，九電測定局）

地 点 名	地点番号	設 置 場 所		発 電 所 か ら の		区分	検出器
				方 向	距離 (km)		
境 界 北 局	P-P1	薩摩川内市久見崎町1357-23	北 門 北 約 4 0 0 m	北北東	0.9	●	△
港 局	K1- 1	薩摩川内市港町6199	京 泊 公 民 館	北北東	2.3	○	△▲
久 見 崎 局	K1- 2	薩摩川内市久見崎町1317-5	車 庫 前 バ ス 停	北 東	1.1	○	△▲
北 門 南 局	P-S1	薩摩川内市久見崎町1363-20	北 門 南 約 2 0 0 m	東北東	0.7	●	△
境 界 東 局	P-P2	薩摩川内市久見崎町1738-1	南 門 東 約 2 0 0 m	東南東	0.6	●	△
小 平 局	K1- S	薩摩川内市久見崎町1758-1	九 電 展 示 館	南南東	0.8	○	△▲
南 門 西 局	P-S2	薩摩川内市久見崎町1765-8	南 門	南南東	0.5	●	△
上 野 局	K1- 3	薩摩川内市寄田町896-16	旧 上 野 公 民 館	南南東	2.3	○	△▲
境 界 南 局	P-P3	薩摩川内市久見崎町1775-1	南 門 南 約 4 0 0 m	南南西	0.7	●	△
寄 田 局	K1- 4	薩摩川内市寄田町4-1	旧 寄 田 中 学 校	南南西	2.2	○	△▲
高 江 局	K1- 5	薩摩川内市高江町1735-1	峰山地区コミュニティセンター	東	5.8	○	△▲
隈 之 城 局	K1- 7	薩摩川内市隈之城町217-8	環境放射線監視センター	東南東	11.5	○	△▲
南 防 波 堤	P-P4	発電所専用防波堤	南 防 波 堤	西南西	0.7	●	△
唐 山 局	K2- 1	薩摩川内市港町6115-33	恵 比 須 神 社	北北東	3.9	○	▲
網 津 局	K2- 2	薩摩川内市水引町3397-2	西 部 消 防 署	北 東	4.7	○	▲
水 引 小 局	K2- 3	薩摩川内市水引町5349-1	水 引 小 学 校	東北東	5.4	○	▲
港 体 育 館 局	K2- 4	薩摩川内市港町679	港 体 育 館	北 東	3.1	○	▲
船 間 島 局	K2- 5	薩摩川内市湯島町3535-1	船間島グランド(湯島公園)	東北東	3.0	○	▲
湯 島 局	K2- 6	薩摩川内市湯島町2464	水 引 公 園	東	4.1	○	▲
河 口 大 橋 局	K2- 7	薩摩川内市久見崎町53-17	久 見 崎 派 出 所	東北東	1.5	○	▲
山 神 田 局	K2- 8	薩摩川内市高江町6152	高 江 運 動 広 場	東南東	6.6	○	▲
毎 床 局	K2- 9	薩摩川内市高江町7036-41	寄田青山林道沿線	南 東	5.4	○	▲
山 ノ 口 局	K2-10	薩摩川内市寄田町253	旧 寄 田 小 学 校	南	3.0	○	▲
里 局	K2-11	薩摩川内市里町里1619	里 松 原 公 園	西	25.7	○	▲
下 山 局	K2-12	いちき串木野市羽島8988-7	県道川内串木野線	南南東	5.5	○	▲
土 川 局	K2-13	いちき串木野市羽島9675	土川交流センター	南	6.1	○	▲
羽 島 局	K2-14	いちき串木野市羽島5218	羽島交流センター	南	8.4	○	▲
大 川 局	K2-15	阿久根市大川8211-1	旧 大 川 中 学 校	北北東	13.4	○	▲
1 区 分 ○：県実施 ●：九電実施 2 検 出 器 △：NaI(Tl)シンチレーション ▲：電離箱 3 測定地点数 県実施：22地点 九電実施：6地点 計：28地点 4 地点番号 K1-※：県第１測定局，K2-※：県第２測定局，P-※：九電測定局							

表－２ 測定局における線量率連続測定地点（県第３測定局）

地 点 名	地点番号	設 置 場 所		発 電 所 か ら の		区分	検出器
				方 向	距離(km)		
湯 田 局	K3- 1	薩摩川内市湯田町4321-3	旧 高 城 西 中 学 校	北北東	9.2	○	▲
陽 成 局	K3- 2	薩摩川内市陽成町4620	陽成地区コミュニティセンター	東北東	8.8	○	▲
高 来 小 局	K3- 3	薩摩川内市高城町1326	高 来 小 学 校	東北東	9.6	○	▲
樋 脇 小 局	K3- 5	薩摩川内市樋脇町塔之原3624	樋 脇 小 学 校	東	18.7	○	▲
祁 答 院 中 局	K3- 8	薩摩川内市祁答院町下手277-1	祁答院中入口広場	東	29.2	○	▲
昭 和 通 局	K3-10	いちき串木野市昭和通133-17	いちき串木野市役所	南南東	15.4	○	▲
鶴 見 局	K3-11	阿久根市鶴見町200	阿 久 根 市 役 所	北	20.2	○	▲
長 里 局	K3-13	日置市東市来町長里1020-1	消 防 学 校	南東	23.5	○	▲
郡 局	K3-14	日置市伊集院町郡一丁目100	日 置 市 役 所	南東	30.0	○	▲
武 本 局	K3-15	出水市武本4610	出水市運動公園	北北東	30.1	○	▲
泊 野 局	K3-17	薩摩郡さつま町泊野451	旧 泊 野 小 学 校	北東	20.8	○	▲
田 原 局	K3-18	薩摩郡さつま町田原2205-1	さつま町給食センター	東北東	27.9	○	▲
常 盤 局	K3-19	鹿児島市郡山町2945	常盤コミュニティセンター	東南東	29.8	○	▲
山 門 野 局	K3-20	出水郡長島町山門野4538	田尻地区運動公園	北	29.3	○	▲
1 区 分 ○：県実施 2 検 出 器 ▲：電離箱 3 測定地点数 県実施：14地点 4 地 点 番 号 K3-※：県第３測定局							

表－３ 放水口における計数率連続測定地点（九電実施）

地 点 名	設 置 場 所	
放 水 口 ポ ス ト	原 子 力 発 電 所 敷 地 内	発 電 所 放 水 口

表－４ サーベイポイントにおける線量率定期（毎月）測定地点

地 点 名	地 点 番 号	設 置 場 所	発 電 所 からの		区 分	測 定 方 法
			方 向	距離 (km)		
境 界 北	P－ 1	薩摩川内市久見崎町1357-23	境 界 北 局	北北東	0.9	● ■
北 門 北	P－ 2	薩摩川内市久見崎町1359-1	北 門 守 衛 所	北東	0.9	● ■
北 門 南	P－ 3	薩摩川内市久見崎町1363-20	北 門 南 局	東北東	0.7	● ■
平 尾	P－ 4	薩摩川内市久見崎町1737-1	北 門 南 4 0 0 m	東	0.6	● ■
境 界 東	P－ 5	薩摩川内市久見崎町1738-1	境 界 東 局	東南東	0.6	● ■
山 仁 田	P－ 6	薩摩川内市久見崎町1745-6	寮 駐 車 場 入 口	南東	0.7	● ■
南 門 西	P－ 7	薩摩川内市久見崎町1765-8	南 門 西 局	南南東	0.5	● ■
片 平 山	P－ 8	薩摩川内市久見崎町1765-10	南 門 横 鉄 塔 下	南	0.7	● ■
境 界 南	P－ 9	薩摩川内市久見崎町1775-1	境 界 南 局	南南西	0.7	● ■
上 浜	P－ 11	薩摩川内市久見崎町1358-4	浜 の 茶 屋	北北東	1.1	● ■
本 馬 場	P－ 12	薩摩川内市久見崎町191-1	滄浪地区コミュニティセンター	東北東	1.5	● ■
宮 山 池	P－ 13	薩摩川内市久見崎町1763-1	宮 山 池	南	1.0	● ■
漁 協 東	P－ 31	薩摩川内市港町6185-7	川 内 市 漁 協	北北東	2.3	● ■
岩 下	P－ 32	薩摩川内市港町52-1	臼江水門東約500m	東北東	3.0	● ■
倉 浦	P－ 33	薩摩川内市久見崎町975-2	倉浦バス停南約200m	東	3.2	● ■
上 野	P－ 34	薩摩川内市寄田町896-86	上野局より山頂100m	南南東	2.2	● ■
西 池	P－ 35	薩摩川内市寄田町139	寄田地区コミュニティセンター	南	2.7	● ■
宮 園	P－ 51	薩摩川内市網津町4395-4	枚 聞 神 社 入 口	北東	4.7	● ■
平 島	P－ 52	薩摩川内市湯島町2572-1	平 島 集 会 所	東	4.2	● ■
瀬 戸 地	P－ 53	薩摩川内市高江町4751-2	瀬 戸 地 公 民 館	東南東	5.2	● ■
毎 床	P－ 54	薩摩川内市高江町7033	土岩牧場跡地南1 km	南東	5.4	● ■
土 川	P－ 55	薩摩川内市寄田町1214-3	土川地区集会所	南	6.0	● ■
北 防 波 堤	P-14S	発電所専用防波堤	北 防 波 堤	北西	0.6	● □
南 防 波 堤	P-15S	発電所専用防波堤	南 防 波 堤	西南西	0.5	● □
北 防 波 堤	P-16S	発電所専用防波堤	北 防 波 堤	西北西	0.9	● □
1 区 分 ●：九電実施 2 測 定 方 法 ■：モニタリングカー □：サーベイメータ 3 測定地点数 九電実施：25地点 4 地 点 番 号 P-※：九電測定地点						

表－５　３か月間積算線量測定地点（モニタリングポイント）

地 点 名	地点番号	設 置 場 所		発 電 所 か ら の		区分
				方 向	距離 (km)	
小 平	K－ 1	薩摩川内市久見崎町1758-1	小 平 局	南南東	0.8	○
境 界 北	P－ 1	薩摩川内市久見崎町1357-23	境 界 北 局	北北東	0.9	●
北 門 北	P－ 2	薩摩川内市久見崎町1359-1	北 門 守 衛 所	北東	0.9	●
北 門 南	P－ 3	薩摩川内市久見崎町1363-20	北 門 南 局	東北東	0.7	●
平 尾	P－ 4	薩摩川内市久見崎町1737-1	北 門 南 約 4 0 0 m	東	0.6	●
境 界 東	P－ 5	薩摩川内市久見崎町1738-1	境 界 東 局	東南東	0.6	●
山 仁 田	P－ 6	薩摩川内市久見崎町1745-6	寮 駐 車 場 入 口	南東	0.7	●
南 門 西	P－ 7	薩摩川内市久見崎町1765-8	南 門 西 局	南南東	0.5	●
片 平 山	P－ 8	薩摩川内市久見崎町1765-10	南 門 横 鉄 塔 下	南	0.7	●
境 界 南	P－ 9	薩摩川内市久見崎町1775-1	境 界 南 局	南南西	0.7	●
上 浜	P－ 11	薩摩川内市久見崎町1358-4	浜 の 茶 屋	北北東	1.1	●
本 馬 場	P－ 12	薩摩川内市久見崎町191-1	滄浪地区コミュニティセンター	東北東	1.5	●
宮 山 池	P－ 13	薩摩川内市久見崎町1763-1	宮 山 池	南	1.0	●
京 泊	K－ 31	薩摩川内市港町6199	港 局	北北東	2.3	○
庵 之 平	K－ 32	薩摩川内市久見崎町1317-5	久 見 崎 局	北東	1.1	○
水 ケ 段	K－ 33	薩摩川内市寄田町896-16	上 野 局	南南東	2.3	○
吹 揚	K－ 34	薩摩川内市寄田町4-1	寄 田 局	南南西	2.2	○
漁 協 東	P－ 31	薩摩川内市港町6185-7	川 内 市 漁 協	北北東	2.3	●
岩 下	P－ 32	薩摩川内市港町52-1	臼江水門東約500m	東北東	3.0	●
倉 浦	P－ 33	薩摩川内市久見崎町975-2	倉浦バス停南約200m	東	3.2	●
上 野	P－ 34	薩摩川内市寄田町896-86	上野局より山頂100m	南南東	2.2	●
西 池	P－ 35	薩摩川内市寄田町139	寄田地区コミュニティセンター	南	2.7	●
唐 山	K－ 51	薩摩川内市港町6155-34	唐 山 局	北北東	3.9	○
浜 田	K－ 52	薩摩川内市水引町7612	水 引 中 学 校	東北東	4.9	○
池 之 段	K－ 53	薩摩川内市寄田町1436-19	池 之 段 集 会 所	南	4.1	○
宮 園	P－ 51	薩摩川内市網津町4395-4	枚 聞 神 社 入 口	北東	4.7	●
平 島	P－ 52	薩摩川内市湯島町2572-1	平 島 集 会 所	東	4.2	●
瀬 戸 地	P－ 53	薩摩川内市高江町4751-2	瀬 戸 地 公 民 館	東南東	5.2	●
毎 床	P－ 54	薩摩川内市高江町7033	土岩牧場跡地南1km	南東	5.4	●
土 川	P－ 55	薩摩川内市寄田町1214-3	土 川 地 区 集 会 所	南	6.0	●
高 江	K－ 72	薩摩川内市高江町1735-1	高 江 局	東	5.8	○
山 神 田	K－ 73	薩摩川内市高江町6152	山 神 田 局	東南東	6.6	○
小 ケ 倉	K－ 74	いちき串木野市羽島8805-233	弁財天開拓地之碑	南南東	6.9	○
砂 岳	K－ 75	薩摩川内市湯田町1065-2	砂 岳 市 営 住 宅	北北東	6.9	○

地 点 名	地点番号	設 置 場 所		発 電 所 か ら の		区分
				方 向	距離 (km)	
西 方	K-101	薩摩川内市西方町3341	旧 西 方 小 学 校	北北東	9.6	○
小 園	K-102	薩摩川内市陽成町4613	旧 陽 成 小 学 校	北東	8.7	○
妹 背	K-103	薩摩川内市高城町1324	高 来 小 学 校	東北東	9.5	○
別 府	K-104	薩摩川内市宮内町2061-1	別 府 公 民 館	東	9.3	○
木 場 谷	K-105	薩摩川内市青山町4915-3	木場谷みかん植栽50周年記念碑	東南東	10.3	○
羽 島 浜	K-106	いちき串木野市羽島5219	羽 島 局	南	8.4	○
大 河 内	K-108	いちき串木野市荒川2962	大 河 内 公 民 館	南東	10.8	○
隈 之 城	K-109	薩摩川内市隈之城町217-8	環境放射線監視センター	東南東	11.5	○
水 源 地	K-112	薩摩川内市樋脇町塔之原4148-1	樋 脇 中 央 水 源 地	東	18.8	○
消 防 署	K-114	いちき串木野市昭和通133-1	いちき串木野消防署	南南東	15.4	○
里 公 民 館	K-115	薩摩川内市里町里1922	里 公 民 館	西	25.8	○
東 郷 公 民 館	K-116	薩摩川内市東郷町斧渕618-4	東 郷 公 民 館	東北東	14.5	○
北 防 波 堤	P-14S	発電所専用防波堤	北 防 波 堤	北西	0.6	●
南 防 波 堤	P-15S	発電所専用防波堤	南 防 波 堤	西南西	0.5	●
北 防 波 堤	P-16S	発電所専用防波堤	北 防 波 堤	西北西	0.9	●
1 区 分 ○：県実施 ●：九電実施 2 測定地点数 県実施：24地点 九電実施：25地点 計：49地点 3 地 点 番 号 K-※：県測定地点， P-※：九電測定地点						

表－6 環境試料の放射能分析

ア 県実施

項 目	種 類		採取 頻度 (回/年)	採 取 時 期				備 考
	試 料 名	採取地点		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
海 洋 試 料	海産生物	しらす(ちりめん)	発電所周辺海域	1	● ▲			(凡例) ● : γ 線スペクトロメリー (^{137}Cs , ^{60}Co) ○ : γ 線スペクトロメリー (^{131}I) ▲ : 放射化学分析 (^{90}Sr) △ : 放射化学分析 (^3H)
		きびなご	〃	1	● ▲			
		えそ	〃	1		● ▲		
		かわはぎ	〃	1			● ▲	
		こういか	〃	2	●		●	
		けんさきいか	〃	1	●			
		むらさきいんこ	発電所近隣沿岸	1		● ▲		
		わかめ	港町	1			● ○ ▲	
		すじあおのり	寄田町	1			● ○ ▲	
	海水	放水口側	前面海域	2	● ○ ▲ △		● ○ △	
		取水口側	〃	2	● ○ ▲ △		● ○ △	
	海底土	放水口側	〃	2	● ▲		●	
		取水口側	〃	2	● ▲		●	
陸 上 試 料	植 物	米	高江町	1			● ○ ▲	(分析試料数) ^{137}Cs , ^{60}Co …100 ^{131}I …………… 55 ^{90}Sr …………… 21 ^3H …………… 12
		米	水引町	1			●	
		白菜	五代町	1			● ○ ▲	
		らっきょう	港町	1	●			
		大根	五代町	1			●	
		そらまめ	寄田町	1	● ○			
		甘しよ	宮里町	1			● ▲	
		ばれいしよ	いさき神社林内	1	●			
		茶	寄田町	1		● ○ ▲		
		ぼんかん	寄田町	1			● ○ ▲	
		みかん	青山町	1			● ○	
		牧草	宮里町	1			● ○	
	畜産物	松葉	寄田町	2	● ○		● ○ ▲	
		牛乳	中村町	4	● ○	● ○ ▲	● ○	
	陸 水	寄田浄水場原水	寄田町	4	● ○ ▲ △	● ○ △	● ○ △	
		丸山浄水場原水	田海町	4	● ○ ▲ △	● ○ △	● ○ △	
	陸 土	諏訪神社境内	久見崎町	2		●	●	
		モニタリングポスト	寄田局	2		● ▲	●	
	浮遊じん	連続エアサンプラー	小平局	12	●(毎月)	●(毎月)	●(毎月)	
		ダストモニタ	小平局	連続	● ○	● ○	● ○	
		ダスト吸素サンプラー	小平局	4	● ○	● ○	● ○	
		ダスト吸素サンプラー	港局	4	● ○	● ○	● ○	
		ダスト吸素サンプラー	久見崎局	4	● ○	● ○	● ○	
		ダスト吸素サンプラー	上野局	4	● ○	● ○	● ○	
		ダスト吸素サンプラー	寄田局	4	● ○	● ○	● ○	
		ダスト吸素サンプラー	高江局	4	● ○	● ○	● ○	
		ダスト吸素サンプラー	隈之城局	4	● ○	● ○	● ○	
	降 下 物		寄田局	12	●(毎月)	●(毎月)	●(毎月)	

イ 九電実施

項 目		種 類		採取 頻度 (回/年)	採 取 時 期				備 考
		試 料 名	採取地点		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
海 洋 試 料	海産生物	しらす(ちりめん)	発電所周辺海域	2	● ▲		●		(凡例) ● : γ線スペクトロメトリー (¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co) ○ : γ線スペクトロメトリー (¹³¹ I) ▲ : 放射化学分析 (⁹⁰ Sr) △ : 放射化学分析 (³ H)
		た い	〃	1	● ▲				
		ひ ら め	〃	2		● ○ ▲	● ○		
		こ う い か	〃	2	●		●		
		な ま こ	〃	2			● ▲	● ○	
		ま ふ の り	寄 田 町	1	● ○ ▲				
	海 水	放 水 口 側	前面海域	4	● ○ ▲	● ○ △	● ○	● ○ △	
		取 水 口 側	〃	4	● ○ ▲	● ○ △	● ○	● ○ △	
	海 底 土	放 水 口 側	〃	2		● ▲		●	
		取 水 口 側	〃	2		● ▲		●	
陸 上 試 料	植 物	米	久見崎町	1			● ○ ▲		(分析試料数) ¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co… 73 ¹³¹ I…………… 33 ⁹⁰ Sr…………… 22 ³ H …………… 14
		米	寄 田 町	1			●		
		ほうれんそう	久見崎町	3	● ○		● ○ ▲	● ○	
		甘 し よ	寄 田 町	1			● ▲		
		茶	宮 里 町	1	● ○ ▲				
		松 葉	久見崎町	2		● ○ ▲		● ○	
	畜 産 物	牛 乳	中 村 町	2		● ○ ▲		● ○	
		宮 山 池 水	宮 山 池	2		● ○ △		●○▲△	
	陸 水	川 内 川 水	高 江 町	4	● ○	● ○ △	● ○	●○▲△	
		井 戸 水	久見崎町	2		● ○ △		●○▲△	
		萩元浄水場原水	いしき橋市川	4	● ○ △	● ○ △	●○▲△	● ○ △	
		モニタリングステーション	北門南局	2	● ▲		●		
	陸 土	モニタリングステーション	南門西局	2	●		●		
		宮 山 池 底 土	宮 山 池	2	● ▲		●		
		諏訪神社境内	久見崎町	2	● ▲		●		
		連続エアサンプラー	北門南局	4	●	●	●	●	
	浮遊じん	連続エアサンプラー	南門西局	4	●	●	●	●	
		降 下 物	南門西局	12	●(毎月)	●(毎月)	●(毎月)	●(毎月)	

備考) しらす, こういか, 放水口側(海水, 海底土), 取水口側(海水, 海底土), 牛乳, 諏訪神社境内(陸土)は, 県実施分と同一種類である。

表－7 陸土及び陸水の放射能分析（県実施）

ア 陸土

地 点 名	採 取 場 所	採取年度（1回／5年）					備 考
		令 和					
		2	3	4	5	6	
港 局	薩摩川内市港町6199	○					○：γ線スペクトロメトリー （ ^{137}Cs , ^{60}Co ） 放射化学分析 （ ^{90}Sr , ^{238}Pu , $^{239+240}\text{Pu}$ ） （外部委託） 1 年10試料程度 2 5年で50地点程度 を調査し、その後も 調査を継続する。 但し、 ^{238}Pu 及び $^{239+240}\text{Pu}$ について は、調査開始当初の 1回のみとする。
久見崎局	薩摩川内市久見崎町1317-5	○					
小平局	薩摩川内市久見崎町1758-1	○					
上野局	薩摩川内市寄田町896-16	○					
寄田局	薩摩川内市寄田町4-1	○					
高江局	薩摩川内市高江町1735-1	○					
隈之城局	薩摩川内市隈之城町217-8	○					
唐山局	薩摩川内市港町6115-33	○					
港体育館局	薩摩川内市港町679	○					
船間島局	薩摩川内市湯島町3535-1	○					
河口大橋局	薩摩川内市久見崎町53-17	○					
水引小局	薩摩川内市水引町5349-1		○				
湯島局	薩摩川内市湯島町2464		○				
山神田局	薩摩川内市高江町6152		○				
毎床局	薩摩川内市高江町7036-41		○				
下山局	いちき串木野市羽島8988-7		○				
土川局	いちき串木野市羽島9675		○				
羽島局	いちき串木野市羽島5218		○				
湯田局	薩摩川内市湯田町4321-3		○				
陽成局	薩摩川内市陽成町4620		○				
高来小局	薩摩川内市高城町1326		○				
荒川※	いちき串木野市荒川2423-2		○				※ 令和4、5年度、 測定局の配置等の見 直しから、地点名を 変更（12地点）
里局	薩摩川内市里町里1619			○			
大川局	阿久根市大川8211-1			○			
鶴川内※	阿久根市鶴川内6614-6			○			
吉川※	薩摩川内市城上町7080-1			○			
東郷藤川	薩摩川内市東郷町藤川923-1			○			
穴野※	薩摩川内市東郷町穴野910			○			
天辰※	薩摩川内市天辰町2211-1			○			
永利※	薩摩川内市百次町959			○			
旭※	いちき串木野市金山14067			○			
江石※	薩摩川内市上甑町江石491-1			○			
樋脇小局	薩摩川内市樋脇町塔之原3624				○		
野下※	薩摩川内市樋脇町市比野7974-4				○		
昭和通局	いちき串木野市昭和通133-17				○		
長里局	日置市東市来町長里1020-1				○		
西目※	阿久根市西目1245				○		
赤瀬川	阿久根市赤瀬川2098-3				○		
下持手	出水市野田町上名5519				○		
宇都塚	薩摩郡さつま町泊野				○		
鳥丸	薩摩川内市東郷町鳥丸801-6				○		
川上	いちき串木野市川上978				○		
定之段※	出水市武本5309-2					○	
三笠	阿久根市脇本7749-1					○	
浦	出水市高尾野町大久保5486-4					○	
白男川	薩摩郡さつま町白男川1501-1					○	
流水	薩摩郡さつま町湯田1128					○	
副田	薩摩川内市入来町副田5961-1 地先					○	
蘭牟田	薩摩川内市祁答院町蘭牟田296-2					○	
入来峠	薩摩川内市入来町浦之名5274-1 地先					○	
伊集院北	日置市伊集院町下神殿1995-1					○	
住吉※	日置市日吉町日置11241					○	

イ 陸水

地 点 名	採 取 場 所	採取年度（1回／5年）					備 考
		令 和					
		2	3	4	5	6	
丸 山 浄 水 場	薩摩川内市田海町	●					●：γ線スペクトロメトリー (¹³⁷ Cs, ⁶⁰ Co, ¹³¹ I) 放射化学分析 (⁹⁰ Sr, ³ H) (外部委託) 1 年2試料 2 5年で10地点を調査し、その後も調査を継続する。
小ヶ倉水源地	いちき串木野市羽島	●					
中津俣浄水場	薩摩川内市東郷町藤川		●				
盛 水 水 源 地	薩摩川内市入来町浦之名		●				
丸 山 浄 水 場	薩摩川内市里町里			●			
山之神浄水場	いちき串木野市上名			●			
山下 浄 水 場	阿久根市山下				●		
鳥越浄水場	出水市高尾野町柴引				●		
西 手 水 源	薩摩郡さつま町虎居					●	
湯之元第一水源地	日置市東市来町湯田下ノ山					●	

表－８ 測定方法及び測定機器

区 分			県		九 電	
項 目			測定方法	測 定 機 器	測定方法	測 定 機 器
空間放射線量	線 量 率	モニタリングステーション モニタリングポスト	連 続 測 定 (テレメータ)	3インチNaI (Tl)シンチレーション検出器① (富士電機 NDS3ABB2-AYYYY-S) 球形加圧電離箱検出器 (富士電機 NZU-TK7Q3935C2)① (富士電機 NCE207K1-0YYYY-S)②, ③	連 続 測 定 (テレメータ)	2インチNaI (Tl)シンチレーション検出器 (アロカ ADP-1122)
		サーベイポイント		—		
	計 数 率	放水口ポスト	—	—	定 期 測 定 (モニタリングカー)	3インチNaI (Tl)シンチレーション検出器 (アロカ ADP-1132)
		3 か 月 間 積 算 線 量	モニタリングポイント	3 か月間積算 (91日換算値)	蛍光ガラス線量計 (AGCテクノグラス SC-1) 同リーダー (AGCテクノグラス FGD-201)	3 か月間積算 (91日換算値)
	環境試料の放射能	γ 線 放 出 核 種 (セシウム137, コバルト60) (ヨウ素131) ＜γ 線スペクトロメトリ＞	モニタリングステーション	放射能測定法 シリーズ (文部科学省等)	Ge半導体検出器 (ORTEC GEM-45) (ORTEC GMX-40) (ORTEC GEM-35P4-70-RB)	放射能測定法 シリーズ (文部科学省等)
連 続 測 定 (ダストモニタ)		Ge半導体検出器 (ORTEC GEM-15-70-S)		—	—	
ストロンチウム90 ＜放射化学分析＞		放射能測定法 シリーズ (文部科学省)	2π薄窓ガスフロー型検出器 (ミオンテクノロジーズ・キャンペラ S5XLB)	放射能測定法 シリーズ (文部科学省)	2π薄窓ガスフロー型検出器 (アロカ LBC-4301) (アロカ LBC-5201)	
トリチウム ＜放射化学分析＞			低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ (アロカ LSC-LB8)		低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ (アロカ LSC-LB7)	
陸土・陸水の放射能	γ 線 放 出 核 種 (セシウム137, コバルト60) (ヨウ素131) ＜γ 線スペクトロメトリ＞	放射能測定法 シリーズ (文部科学省等)	外部委託により実施	—	—	
	ストロンチウム90 トリチウム プルトニウム238 プルトニウム239+240 ＜放射化学分析＞	放射能測定法 シリーズ (文部科学省)				

※ ①：県第1測定局，②：県第2測定局，③：県第3測定局

表－９ 単位及び測定値の取扱い

ア 空間放射線量			測定値の取扱い	
測定項目	単 位	最小表示位		
線 量 率	ナノグレイ nGy/h	1 の位	1 最小表示位の1桁上以上の数値については、原則として有効数字2桁で表示する。最小表示位以下の数値については、有効数字1桁で表示する。	
計 数 率	シービーエム cpm	10の位	2 3か月間積算線量については、91日に換算する。	
3か月間積算線量	ミリグレイ mGy	小数第2位	3 「測定せず」は「－」で表示する。	

イ 環境試料の放射能			測定値の取扱い	
測定項目	単 位	最小表示位		
γ 線放出核種	海 産 生 物 植 物	ベクレル Bq/kg生	小数第2位	1 最小表示位の1桁上以上の数値については、有効数字2桁で表示する。最小表示位以下の数値については、有効数字1桁で表示する。 2 放射能濃度をN、その計数誤差をΔNとすればN<3ΔNの場合は検出されずとする。 3 「検出されず」は「ND」，「測定せず」は「－」で表示する。
	畜産物(牛乳)	ベクレル Bq/L	小数第3位	
	海 底 土 土	ベクレル Bq/kg乾土	小数第1位	
	海 陸 水 水	ミリベクレル mBq/L	小数第2位	
	浮遊じん	連続エア サンプリング	ミリベクレル mBq/m³	
	ダストモニタ	ベクレル Bq/m³	小数第3位	
	ダストヨウ素 サンプリング	ミリベクレル mBq/m³	小数第1位	
	降 下 物	メガベクレル MBq/km²	小数第2位	
トリチウム	海 陸 水 水	ベクレル Bq/L	小数第1位	
プルトニウム	陸 土	ベクレル Bq/kg乾土	小数第2位	

項目	区分	県	九電
モニタリングステーション		▽	▼
モニタリングポスト		□	■
モニタリングポイント		○	●
サーベイポイント			▲
放水口ポスト			◆

12km
10km
7km
5km
3km

西方 K-101
砂岳 K-75
唐山局(唐山) K2-1 (K-51)
漁協東 P-31
港局(京泊) K1-1 (K-31)
本馬場 P-12
河口大橋局 K2-7
寄田局(吹揚) K1-4 (K-34)
上野 P-34
上野局(水ヶ段) K1-3 (K-33)
西池 P-35
山ノ口局 K2-10
池之段 K-53
土川 P-55
土川局 K2-13
羽島局(羽島浜) K2-14 (K-106)
宮園 P-51
網津局 K2-2
濱田 K-52
水引小局 K2-3
岩下 P-32
船間島局 K2-5
平島 P-52
湯島局 K2-6
倉浦 P-33
高江局(高江) K1-5 (K-72)
瀬戸地 P-53
山神田局(山神田) K2-8 (K-73)
別府 K-104
妹背 K-103
小園 K-102
小ヶ倉 K-74
大河内 K-108
木場谷 K-105
隈之城局(隈之城) K1-7 (K-109)
每床局 K2-9
每床 P-54
下山局 K2-12

川内原子力発電所

薩摩川内市

いちき串木野市

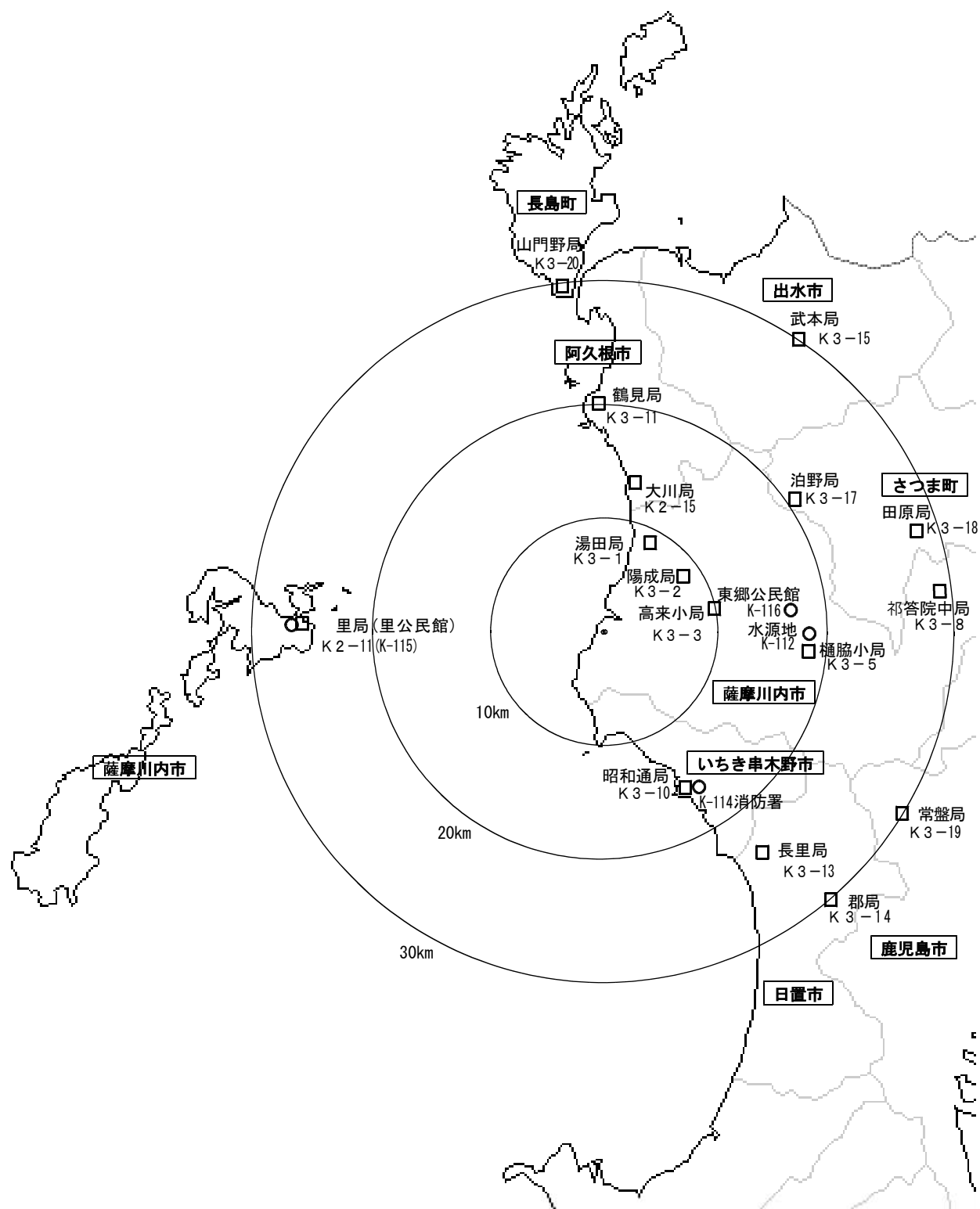
拡大図

1 km

上浜 P-11
境界北局(境界北) P-P1 (P-1)
久見崎局(庵之平) K1-2 (K-32)
北門北 P-2
北門南局(北門南) P-S1 (P-3)
平尾 P-4
境界東局(境界東) P-P2 (P-5)
南門西局(南門西) P-S2 (P-7)
片平山 P-8
山仁田 P-6
小平局(小平) K1-S (K-1)
宮山池 P-13
南防波堤 P-15S
北防波堤(1) P-16S
北防波堤(2) P-14S

K1-*: 県第1測定局, K2-*: 県第2測定局, K3-*: 県第3測定局, K-*: 県測定地点
P-*: 九電測定局及び測定地点

図－2 空間放射線量測定地点（広域図）

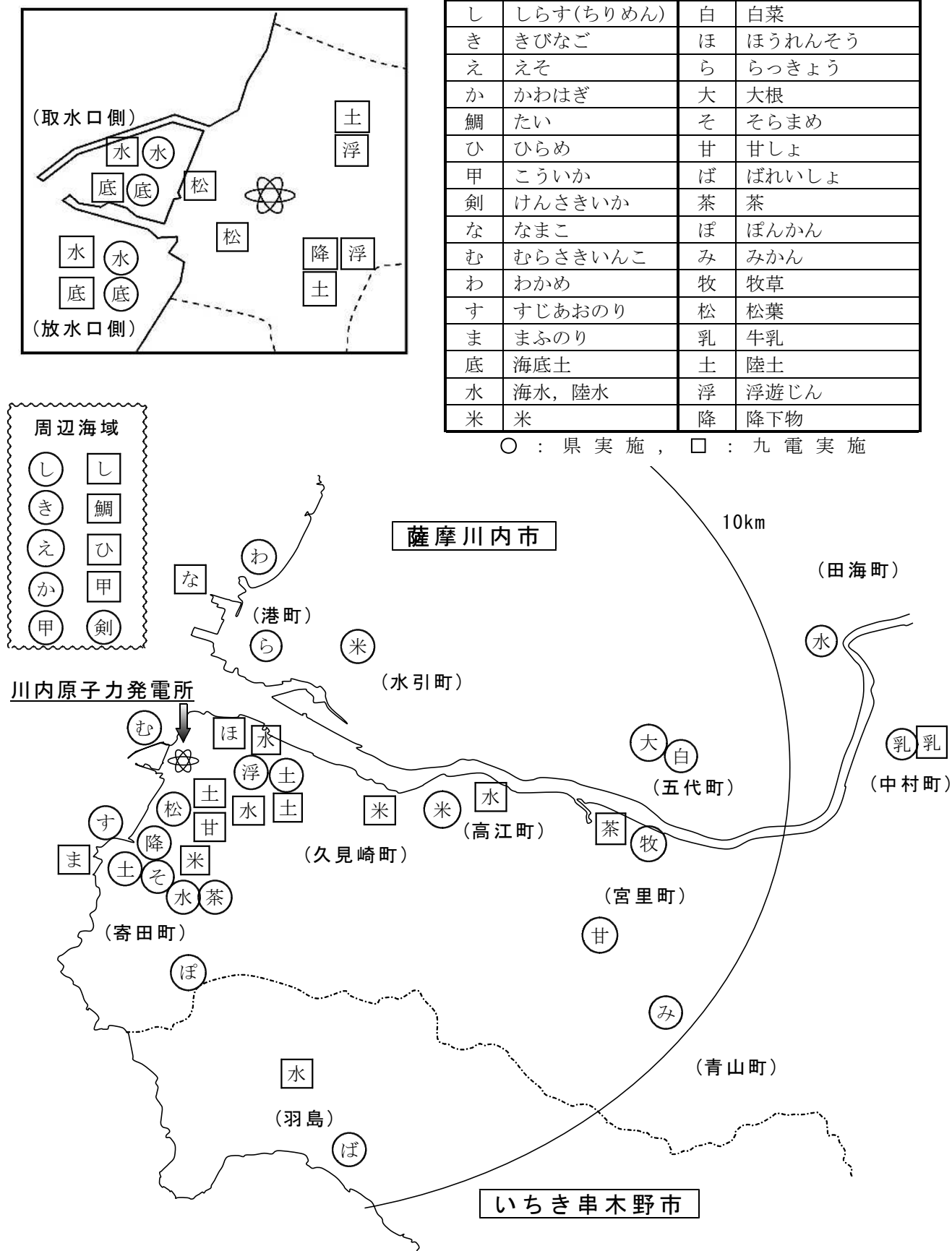


図－3 環境試料採取地点

凡 例

記号	試料名	記号	試料名
し	しらす(ちりめん)	白	白菜
き	きびなご	ほ	ほうれんそう
え	えそ	ら	らっきょう
か	かわはぎ	大	大根
鯛	たい	そ	そらまめ
ひ	ひらめ	甘	甘しょ
甲	こういか	ば	ばれいしょ
剣	けんさきいか	茶	茶
な	なまこ	ぼ	ぼんかん
む	むらさきいんこ	み	みかん
わ	わかめ	牧	牧草
す	すじあおのり	松	松葉
ま	まふのり	乳	牛乳
底	海底土	土	陸土
水	海水，陸水	浮	浮遊じん
米	米	降	降下物

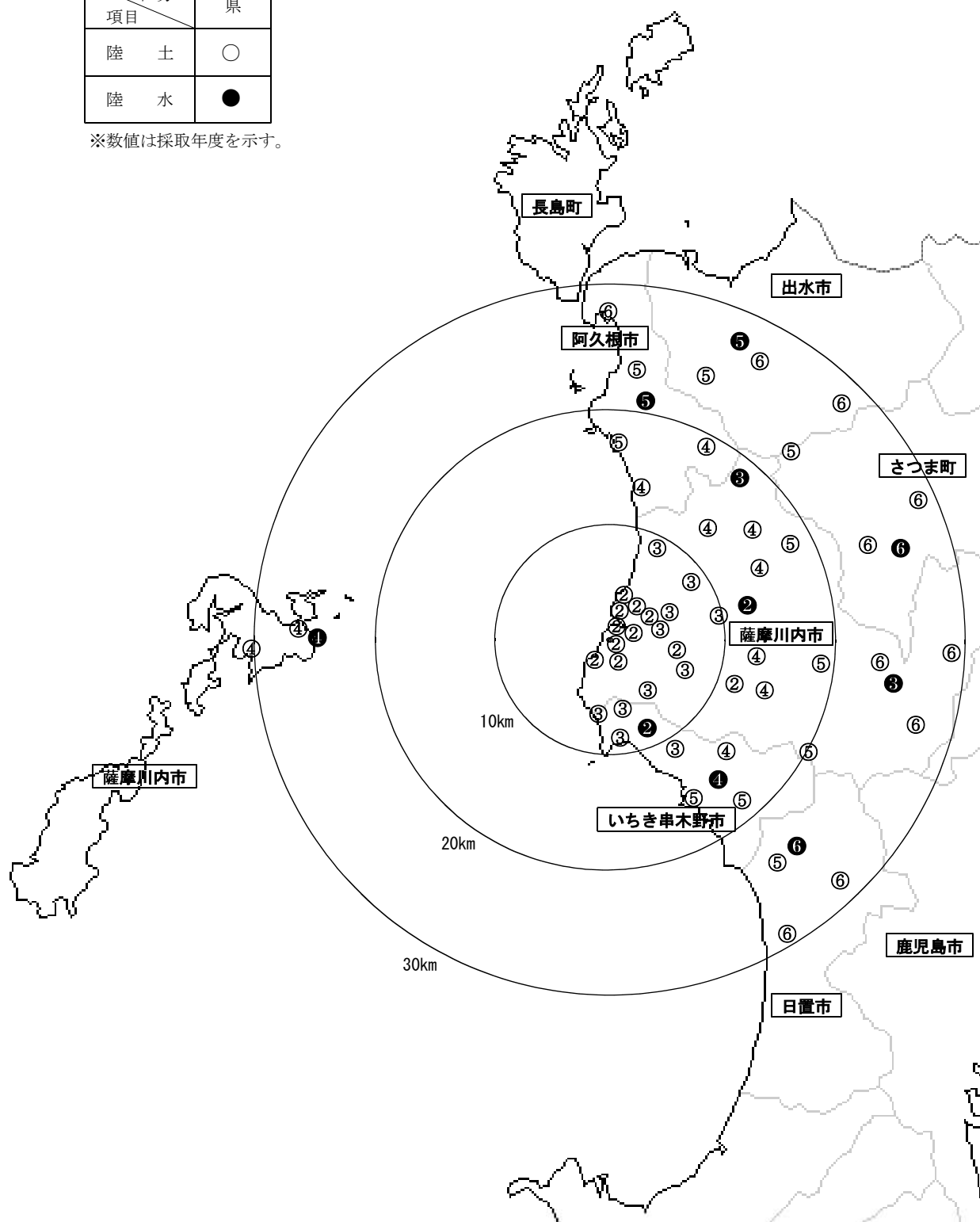
○：県実施，□：九電実施



図－4 陸土及び陸水の採取地点

区分 項目		県
陸	土	○
陸	水	●

※数値は採取年度を示す。

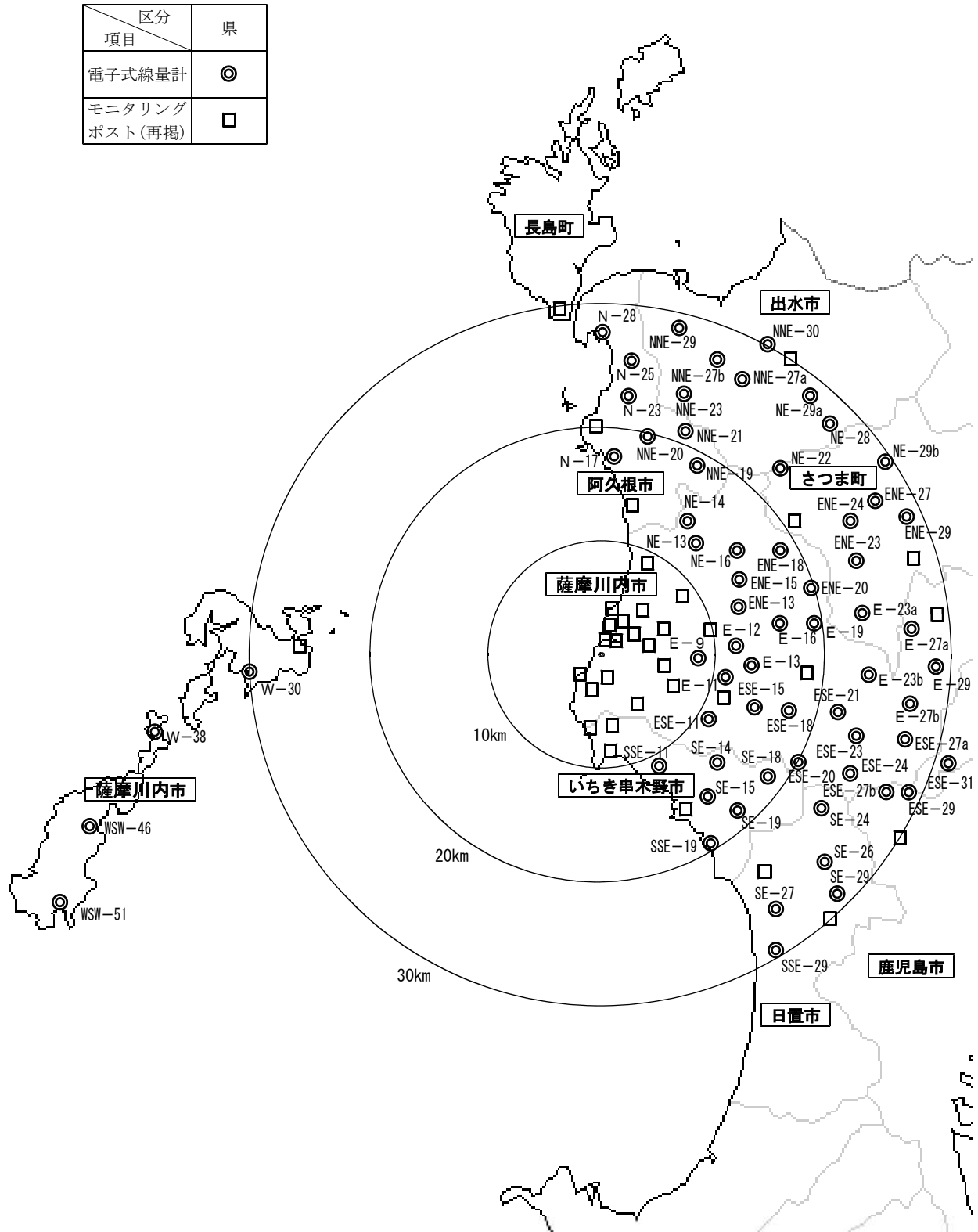


参考表 電子式線量計による線量率連続測定地点

地 点 名	地点番号	設 置 場 所		発 電 所 か ら の		測定開始 年 度
				方 向	距離 (km)	
西 目	N -17	阿久根市西目1245	西 目 小 学 校	北	17.1	△
赤 瀬 川	N -23	阿久根市赤瀬川2098-3	農村環境改善センター	北	22.8	○
折 多	N -25	阿久根市折口1760	折 多 小 学 校	北	25.4	△
三 笠	N -28	阿久根市脇本7749-1	三 笠 中 学 校	北	27.5	○
鶴 川 内	NNE-19	阿久根市鶴川内6614-6	山 村 開 発 セ ン タ ー	北北東	18.9	□
尾 崎	NNE-20	阿久根市山下5916	尾 崎 小 学 校	北北東	19.6	△
田 代	NNE-21	阿久根市鶴川内7257	田 代 小 学 校	北北東	21.0	△
下 特 手	NNE-23	出水市野田町上名5519	下 特 手 公 民 館	北北東	23.4	○
浦	NNE-27a	出水市高尾野町大久保5486-4	出水市上水道施設	北北東	26.6	○
高 尾 野	NNE-27b	出水市高尾野町柴引1530	高 尾 野 小 学 校	北北東	27.3	△
木 牟 礼	NNE-29	出水市高尾野町江内506-2	木 牟 礼 公 民 館	北北東	28.6	○
西 出 水	NNE-30	出水市西出水町1700	出 水 高 校	北北東	30.0	○
吉 川	NE -13	薩摩川内市城上町7080-1	旧 吉 川 小 学 校	北東	13.2	△
宇 都 川 路	NE -14	薩摩川内市城上町8000-7	宇 都 川 路 公 民 館	北東	14.1	○
東 郷 藤 川	NE -16	薩摩川内市東郷町藤川923-1	藤川地区コミュニティセンター	北東	15.7	○
宇 都 塚	NE -22	薩摩郡さつま町泊野	紫 尾 山 頂 公 園 入 口	北東	22.2	○
定 之 段	NE -28	出水市武本5309-2	定 之 段 緑 水 公 園	北東	28.2	□
紫 尾 峠	NE -29a	出水市武本	ふれあいパーク定之段	北東	28.6	○
柊 野	NE -29b	薩摩郡さつま町柊野1170-2 外	旧柊野地区農村広場	北東	29.2	△
八 幡	ENE-13	薩摩川内市田海町3683-1	八 幡 小 学 校	東北東	12.9	○
宍 野	ENE-15	薩摩川内市東郷町宍野910	とうごう五色親水公園	東北東	14.7	△
鳥 丸	ENE-18	薩摩川内市東郷町鳥丸801-6	鳥丸上自治公民館広場	東北東	18.4	○
山 田	ENE-20	薩摩川内市東郷町山田3452-1	山 田 旧 水 源 地	東北東	19.8	△
白 男 川	ENE-23	薩摩郡さつま町白男川1501-1	旧 白 男 川 小 学 校	東北東	23.2	○
平 川	ENE-24	薩摩郡さつま町平川2009-2	旧 平 川 小 学 校	東北東	24.1	○
紫 尾	ENE-27	薩摩郡さつま町紫尾362-1	旧 紫 尾 小 学 校	東北東	27.0	○
流 水	ENE-29	薩摩郡さつま町湯田1128	流 水 小 学 校	東北東	28.8	○
亀 山	E - 9	薩摩川内市五代町1711-1	亀山地区コミュニティセンター	東	8.5	○
神 田	E -11	薩摩川内市神田町1-22	北 薩 地 域 振 興 局	東	11.2	△
育 英	E -12	薩摩川内市中郷三丁目147	育 英 小 学 校	東	12.0	△
天 辰	E -13	薩摩川内市天辰町2211-1	国 際 交 流 セ ン タ ー	東	13.4	△
斧 渕	E -16	薩摩川内市東郷町斧渕1929-1 地先	東郷温泉ゆったり館	東	16.2	○
南 瀬	E -19	薩摩川内市東郷町南瀬2192-3	南瀬地区コミュニティセンター	東	19.0	□
山 崎	E -23a	薩摩郡さつま町山崎853-1	山 崎 地 区 公 民 館	東	23.2	○
副 田	E -23b	薩摩川内市入来町副田5961-1 地先	川 薩 清 修 館 高 校	東	23.4	○

地 点 名	地 点 番 号	設 置 場 所		発 電 所 からの		測定開始 年 度
				方 向	距離 (km)	
轟	E -27a	薩摩川内市祁答院町下手7266-1	轟 地区コミュニティセンター	東	26.6	○
朝 陽	E -27b	薩摩川内市入来町浦之名11726-7	朝陽地区コミュニティセンター	東	26.6	○
藺 牟 田	E -29	薩摩川内市祁答院町藺牟田296-2	中原公園(藺牟田コミュニティセンター)	東	28.6	○
青 山	ESE-11	薩摩川内市青山町4597 地先	青 山 道 路 用 地	東南東	11.0	□
永 利	ESE-15	薩摩川内市百次町959	永 利 小 学 校	東南東	14.6	△
山 中	ESE-18	薩摩川内市永利町5019-1	山 中 自 治 会 館 そ ば	東南東	17.6	○
野 下	ESE-20	薩摩川内市樋脇町市比野7974-4	旧 野 下 小 学 校	東南東	19.8	□
市 比 野	ESE-21	薩摩川内市樋脇町市比野2805	市 比 野 小 学 校	東南東	21.1	△
八 重	ESE-23	薩摩川内市入来町浦之名4494-2	八重地区コミュニティセンター	東南東	23.1	○
藤 本 滝	ESE-24	薩摩川内市樋脇町市比野9206-1	藤 本 滝 公 園	東南東	23.7	○
入 来 峠	ESE-27a	薩摩川内市入来町浦之名5274-1 地先	きんかんの里ふれあい館	東南東	27.2	○
八 重 棚 田	ESE-27b	鹿児島市郡山町5240-24	八 重 棚 田 館	東南東	27.4	○
八 重 山	ESE-29	鹿児島市郡山町5517-1	八 重 山 公 園	東南東	29.0	△
大 山	ESE-31	姶良市蒲生町白男5522-1	旧 大 山 小 学 校	東南東	31.1	△
旭	SE -14	いちき串木野市金山14067	旭 小 学 校	南東	13.5	△
上 名	SE -15	いちき串木野市麓817	上 名 交 流 セ ン タ ー	南東	15.4	△
冠 嶽	SE -18	いちき串木野市冠嶽12844-1	旧 冠 岳 小 学 校	南東	18.0	○
川 上	SE -19	いちき串木野市川上978	川 上 ふ れ あ い 館	南東	18.5	○
高 山	SE -24	日置市東市来町養母15819-4	高山地区交流センター	南東	23.5	○
上 市 来	SE -26	日置市東市来町養母11421	上 市 来 小 学 校	南東	25.8	△
美 山	SE -27	日置市東市来町美山89-2	美 山 小 学 校	南東	26.7	○
伊 集 院 北	SE -29	日置市伊集院町下神殿1995-1	伊 集 院 北 小 学 校	南東	29.1	○
荒 川	SSE-11	いちき串木野市荒川2423-2	荒 川 小 学 校	南南東	11.0	□
市 来	SSE-19	いちき串木野市大里3764-1	市 来 中 学 校	南南東	19.1	△
住 吉	SSE-29	日置市日吉町日置11241	旧 住 吉 小 学 校	南南東	29.3	△
長 浜	WSW-46	薩摩川内市下甕町長浜660	長 浜 小 学 校	西南西	45.6	△
手 打	WSW-51	薩摩川内市下甕町手打1010	手 打 小 学 校	西南西	50.7	△
江 石	W -30	薩摩川内市上甕町江石491-1	上 甕 江 石 運 動 場	西	30.0	△
鹿 島	W -38	薩摩川内市鹿島町1456-25	鹿島市民サービスセンター	西	38.4	△
1 測定開始年度 ○：平成30年度～ △：令和5年度～ □：令和6年度～ 2 検 出 器 シリコン半導体（アロカ PDM-501R1，富士電機 NSD43002-0DYXX-S） 3 測定地点数 県実施：64地点						

参考図 電子式線量計測定地点



資料－２ 用語説明

用 語	説 明
放 射 線	放射性物質から出てくる ^{アルファ} α 線, ^{ベータ} β 線, ^{ガンマ} γ 線, 及び ^{エックス} X 線等を総称している。
放 射 能	原子核が ^{アルファ} α 線, ^{ベータ} β 線, ^{ガンマ} γ 線等の放射線を出す性質をいい, その強さをベクレル (Bq) で表す。
環 境 放 射 線	人間を含めた生物の生活環境内にある放射線のことで, 空間放射線及び環境試料の放射能を総称している。
空 間 放 射 線	空間に存在する放射線のことであり, 私たちのまわりには, 大地, 大気からの放射線や, 宇宙線などによる自然放射線が存在している。自然放射線の量は, 地質や地形の違いなどにより場所毎に違った値をとることから, 測定地点によって違う値をとる。また, 同じ場所であっても, 降雨などの気象条件により変動している。特に雨による影響が大きく, 雨が降ると一時的に高くなることから, 地点毎の測定データは一定の値ではなく範囲をもつ。 空間放射線の測定は, 線量率 (単位: ^{ナノグレイ} n Gy/h) 及び3か月間積算線量 (単位: ^{ミリグレイ} m Gy) で行う。
環 境 試 料	放射能分析を行うため, 食品に供されるもの, 放射性核種の分布等全体の傾向の把握に役立つもの, 蓄積傾向の把握等に役立つものとして採取する, 農畜水産物, 陸水, 大気中浮遊じん, 海水, 陸土, 海底土等のことをいう。
環境試料の放射能分析	環境試料中に含まれる放射性物質の種類と量を測定することで, 測定値は物質の単位体積又は単位質量あたりで表す。 人工放射性物質のセシウム137, コバルト60, ヨウ素131, ストロニウム90やトリチウムを測定対象として実施している。 川内原子力発電所の周辺で, 1年間あたり, 鹿児島県は, 海洋試料13種類延べ18試料, 陸上試料28種類延べ82試料について, 九州電力は, 海洋試料10種類延べ22試料, 陸上試料18種類延べ51試料について放射能分析を実施している。
モ ニ タ リ ン グ	環境放射線を定期的又は連続的に測定監視することをいう。 原子力発電所では, 運転に伴い放射性物質が発生し環境にはできるだけ影響がないように管理して放出されているが, 鹿児島県では, 川内原子力発電所周辺地域の住民の安全確保及び環境の保全を図るため, 発電所の周辺地域において常に環境放射線の監視 (モニタリング) を行っている。
モニタリングステーション	空間放射線量自動連続測定装置, 大気中浮遊じん連続捕集装置等を備えたモニタリングポストより重装備の野外固定施設。川内原子力発電所の周辺に, 鹿児島県が1局, 九州電力が2局, 合計3局設置している。
モニタリングポスト	空間放射線量自動連続測定装置等を備えた野外固定施設。 川内原子力発電所の周辺に, 鹿児島県が35局, 九州電力が4局, 合計39局設置している。

用 語	説 明
放 水 口 ポ ス ト	発電所放水口の海水中の放射線量（計数率）を測定するための自動連続測定装置を備えた野外固定施設。川内原子力発電所の放水口に1局設置している。
環境放射線監視 テレメータシステム	川内原子力発電所の周辺地域に設置しているモニタリングステーション及びモニタリングポストの合計42局や放水口ポスト等で測定されたデータを24時間集中的に監視するため、環境放射線監視センターを中核として設置されているシステムである。 測定データは、インターネットにリアルタイムで表示するとともに環境放射線監視センター、薩摩川内市役所等で表示されている。
モ ニ タ リ ン グ カ ー	モニタリングステーション、モニタリングポスト等の固定施設に対して、いつでも必要な場所へ移動して空間放射線量等の測定を行える移動測定車。
サ ー ベ イ ポ イ ン ト	モニタリングカーやサーベイメータで空間放射線量を定期的に測定する地点。
シンチレーション サ ー ベ イ メ ー タ モニタリングポイント	放射線を測定する携帯用の測定器をサーベイメータといい、シンチレーションサーベイメータはその一つの方式である。 蛍光ガラス線量計という積算型の放射線測定器を備えた、3か月間の積算線量を測定するための野外固定施設。 川内原子力発電所の周辺に、鹿児島県が24地点、九州電力が25地点、合計49地点設置している。
積 算 線 量	空間積算線量のことで、通常3か月間の空間放射線量の積算量を、 mGy （ミリグレイ）で表す。
電 子 式 線 量 計	原子力災害時の防護措置の判断に活用することを目的とした測定機器。
線 量 率	空間放射線量率のことで、単位時間あたりの空間放射線量をいう。通常1時間あたりの放射線量の nGy/h で表す。 電子式線量計による線量率連続測定は、 μSv/h で表す。 緊急事態が発生した場合には、 Gy = Sv として換算。 ナノ（n）は10億分の1、マイクロ（μ）は100万分の1を表す単位の接頭語である。
Sv（シーベルト）	放射線が人体に与える影響を表す単位。 1ミリシーベルト（mSv）は1シーベルト（Sv）の1000分の1である。 日本では、1人あたり平均して1年間に約2.1ミリシーベルト（mSv）の自然放射線を受けている。（55ページ図2参照）

自然放射線の種類	線量（mSv/年）
宇宙から飛来してくるもの	0.30
土壌から放出されるもの	0.33
食物を通じ体内から照射されるもの	0.99
空気中のラドン等の吸収によるもの	0.48
合 計	約 2.1

用 語	説 明
G y (グ レ イ)	物質における放射線のエネルギー吸収量を表す単位で、空間放射線の量を表す単位として、^{エックス}X 線及び ^{ガンマ}γ 線の空気吸収線量が用いられる。 物質 1 kg あたり 1 ジュール (J) のエネルギー吸収があるときの放射線量を 1 グレイ (Gy) という。 1 ミリグレイ (mGy) は 1 グレイ (Gy) の 1000 分の 1, 1 ナノグレイ (nGy) は 1 グレイの 10 億分の 1 である。
B q (ベ ク レ ル)	放射能の強度又は放射性物質の量を表す単位。 1 秒間に 1 個の原子核が崩壊して放射線を出す物質の放射能の強度又は放射性物質の量を 1 ベクレル (Bq) という。 1 ミリベクレル (mBq) は 1 ベクレル (Bq) の 1000 分の 1, 1 メガベクレル (MBq) は 1 ベクレルの 100 万倍である。
cpm (カ ウ ン ト / 分)	1 分間あたりに放射線測定装置で測定される放射線の数を表す。
¹³⁷ Cs (セ シ ウ ム 137)	ウランなどの核分裂で生成する半減期約 30 年, ベータ線とガンマ線を出す放射性物質である。 地上にある ¹³⁷Cs の多くは過去の原水爆実験で発生したものである。平成 23 年には, 福島第一原子力発電所事故の影響による ¹³⁷Cs が, 鹿児島県内で検出された。 同事故では, ¹³⁷Cs 等と共に環境中に ¹³⁴Cs (セシウム 134, 半減期約 2 年, ベータ線とガンマ線を出す放射性物質) も放出され, 事故直後には, 一部の環境試料中に ¹³⁷Cs と同程度の放射能が検出された。
⁶⁰ Co (コ バ ル ト 60)	原子炉の中で安定元素である ⁵⁹Co に放射線の一種である中性子が吸収されて生成する半減期約 5 年, ベータ線とガンマ線を出す放射性物質である。
¹³¹ I (ヨ ウ 素 131)	ウランなどの核分裂で生成する半減期約 8 日, ベータ線とガンマ線を出す放射性物質である。平成 23 年には, 福島第一原子力発電所事故の影響による ¹³¹I が, 鹿児島県内で検出された。
⁹⁰ Sr (ス ト ロ ン チ ウ ム 90)	ウランなどの核分裂で生成する半減期約 29 年, ベータ線を出す放射性物質である。地上にある ⁹⁰Sr の多くは過去の原水爆実験で発生したものである。
³ H (ト リ チ ウ ム) (三 重 水 素)	宇宙線や原子炉内の核分裂などによって生成する半減期約 12 年, ベータ線を出す放射性物質である。 宇宙線によっても生成されるので自然界にも存在する。
²³⁸ Pu, ²³⁹⁺²⁴⁰ Pu (プ ル ト ニ ウ ム 238, 239+240)	原子炉の中で燃料であるウランなどに放射線の一種である中性子が吸収されて生成する放射性物質である。²³⁸Pu, ²³⁹Pu 及び ²⁴⁰Pu はアルファ線を出し, 中でも, ²³⁹Pu の半減期は約 2.4 万年と長い。 地上にあるプルトニウムの多くは過去の原水爆実験で発生したものである。
^{ガンマ} γ 線スペクトロメトリー	Ge 半導体検出器などでガンマ線を測定することで, 試料に含まれる多種類のガンマ線放出核種を一度に分析する方法。
放 射 化 学 分 析	化学的な分離法と放射線測定を組み合わせた手法により, 試料に含まれるアルファ線やベータ線放出核種を分析する方法。

資料－３ 連続測定結果の公開表示

県の環境放射線監視テレメータシステムによって常時収集している、モニタリングポストにおける空間放射線量率、川内原子力発電所における排気筒モニタ、放水口モニタ等の連続測定結果については、県のホームページにおいて、リアルタイムで公開するとともに、薩摩川内市をはじめ、関係市であるいちき串木野市、阿久根市の市役所にも大型モニタを設置しています。

環境放射線監視情報ホームページ

<http://www.env.pref.kagoshima.jp/houshasen/>（パソコン用）

http://www.env.pref.kagoshima.jp/houshasen/i/data_top.cgi（携帯電話用）

(1) トップページ

◆鹿児島県より川内原子力発電所周辺の最新情報をお知らせします。

お知らせ

お知らせ

システム運用に関するお知らせ

現在の測定データ

地図表示

測定データ一覧(グラフ)

測定データ一覧

過去の測定データ

県測定局_時系列

九州電力測定局_時系列

川内原子力発電所_時系列

その他

ダウンロード

監視体制の紹介

関連リンク

最新情報

時系列グラフ

監視体制の紹介と解説

リンク

最新情報の地図表示

お知らせ

運転状況

お知らせ

このホームページは、環境放射線の監視状況や原子力発電所の運転状況に関する情報を、インターネットを通じてわかりやすく提供できることを目的としています。
ここで表示されるデータは速報値ですので、後日修正されることがあります。

(2) 測定データ表示画面

現在の測定データ > 測定データ一覧

測定データ選択:

県測定局 (シンレーション・電離箱)

県測定局 (電子式線量計)

最新データ表示

九州電力測定局

排気筒モニタ 放水口モニタ

2024年03月01日 08時56分 現在 異常はありません。



現在の測定データ > 地図表示

地図表示:

空間放射線

気象

最新データ表示

2024年03月01日 10時06分 現在 異常はありません。

測定局	シンレーション検出器(nGy/h)		電離箱検出器(nGy/h)		風向	風速 (m/s)	雨量 (mm)	感雨
	線量率	今までの範囲	線量率	今までの範囲				
港局	28.7	28 ~ 110	69.6	61 ~ 125	↓北	7.4	0.0	無
久見崎局	22.2	21 ~ 112	59.7	54 ~ 129	↘西南西	1.8	0.0	無
小平局	27.2	25 ~ 109	66.6	59 ~ 128	↓北	2.5	0.0	無
上野局	31.1	27 ~ 113	67.5	61 ~ 139	→西	1.9	0.0	調整中
寄田局	25.1	22 ~ 124	62.0	56 ~ 132	↓北	7.8	0.0	無
高江局	28.6	28 ~ 114	68.8	62 ~ 133	↘北北西	5.2	0.0	無
隈之城局	18.9	18 ~ 80	47.6	44 ~ 95	↓北	3.4	0.0	無
唐山局			74.9	71 ~ 138	↓北	6.0	0.0	無
網津局			84.4	83 ~ 155	↘西南西	0.6	0.0	無
水引小局			82.8	76 ~ 147	↘西北西	1.3	0.0	無
港体育館局			78.6	73 ~ 150	↘北北西	4.0	0.0	無
船間島局			88.6	84 ~ 157	↘北西	6.2	0.0	調整中
湯島局			66.5	62 ~ 143	↓北	2.9	0.0	無

測定対象外 風向の「静穏」は、風速が0.5(m/s)未満を示す。

※1 線量率は2分値で、今までの範囲は1時間値で表示しています。

※2 線量率の「<200」は測定精度保証範囲下限値未満を示す。

※3 今までの範囲が「-」の場合は、これまでの測定値が200nSv/hを下回っていることを示す。

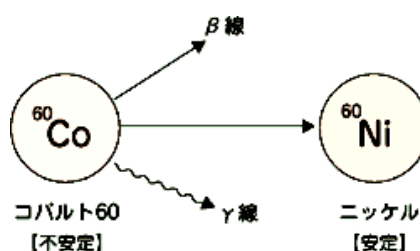
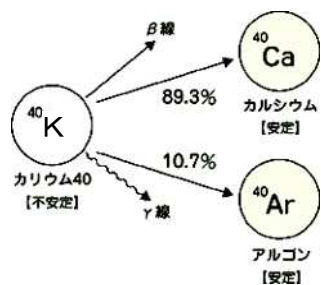
資料－４ 身のまわりの放射線

平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）（原子力規制庁），アイソトープ手帳などをもとに記載している。

１ 自然放射線と人工放射線

放射線には，自然放射線と人工放射線の２種類がある。

区 分	説 明
自然放射線	地球誕生時から存在している放射性物質からの放射線，宇宙線及び宇宙線が大気と作用して生成される放射性物質からの放射線 (カリウム40，ウラン238，ウラン235など)
人工放射線	X線のように人間が人工的に作り出した放射線や，人工的に作った放射性物質からの放射線など (コバルト60，セシウム137，ヨウ素131など)



２ 自然放射線

自然放射線は，自然界に太古から存在し，

- ① 放射性壊変系列を持つもの
 - ② 放射性壊変系列を持たないもの（単独で存在するもの）
 - ③ 宇宙線及び宇宙線によって生成されるもの
- の３種類に分けられる。

(1) 放射性壊変系列を持つもの

地球誕生時から主に地殻中に存在し，長半減期のウラン238，トリウム232などを親核種として，次々に壊変するものであり，それぞれウラン系列，トリウム系列などと呼ばれている。

これらの壊変は，主に地殻中で行われているが，その系列の途中で放射性ガスであるラドン（ラドン222，ラドン220はトロンとも呼ばれている。）が生成し，一部が大気中に出て行くため，大気中にはラドン及びその崩壊生成核種が存在する。

(2) 放射性壊変系列を持たないもの

地球誕生時から主に地殻中に存在する長半減期の核種で，放射性壊変系列を持たず単独で存在する核種。代表的なものとして，カリウム40，ルビジウム87などがある。

核 種	天然存在度 (%)	備 考
カリウム40	0.0117	半減期12億5100万年でベータ壊変し、カルシウム40が生成
ルビジウム87	27.83	半減期492億年でベータ壊変し、ストロンチウム87が生成

(3) 宇宙線及び宇宙線によって生成されるもの

地球上に降り注ぐ宇宙線が大気と作用して生成される核種。代表的なものとして、水素3（トリチウム）、ベリリウム7、炭素14などがある。

核 種	半 減 期	備 考
水 素 3	12.32年	大気中の窒素、酸素と宇宙線の作用
ベリリウム7	53.22日	〃
炭 素14	5,700年	大気中の窒素と宇宙線の作用

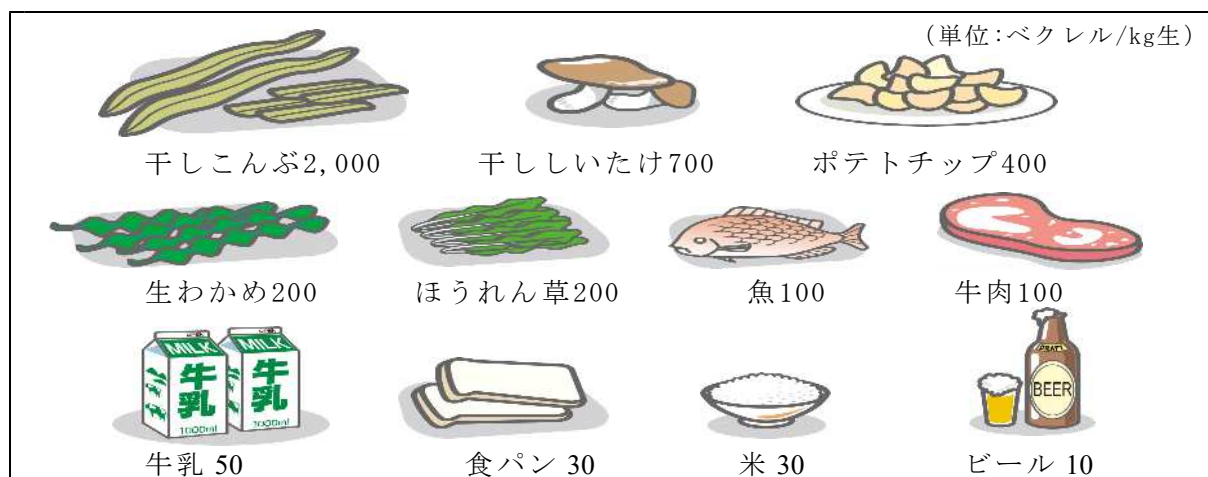
(4) 人体中の放射性物質

大地や海水中に含まれる放射性物質は、野菜や魚などに吸収され、食べ物を通して体内に取り込まれる。人間はだれでも体内に数種類の放射性物質をもっているが、代表的なものはカリウム40である。人体はほぼ一定割合（約0.2%）のカリウムを含んでいるが、大部分は放射線を出さないカリウムで、放射線を出すカリウム40はこのうち0.012%程度含まれる。

表 1 人体中の放射性物質と放射能

放射性物質	濃度 (ベクレル/kg)	全身の放射能 (60キログラムの人のベクレル数)
カリウム40	67	4,100
炭 素 14	41	2,600
ルビジウム87	8.5	520
鉛210又はポロニウム210	0.074～1.5	19
ウラン238	—	1.1

出典：原子放射線の影響に関する国連科学委員会報告（1982）など



参考資料：放射線医学総合研究所(1999)

図 1 食物中のカリウム40の放射エネルギー（日本）

(5) 環境放射線の変動

環境放射線は、常に一定ではなく、気象条件等により変動しており、一般的には降雨時に放射線レベルが上昇する。これは、降雨により大気中のラドンや放射性降下物等が地上に落ちてくることによるもので、天候の回復、降下した放射能の減衰等により通常の値に戻る。降雨時の放射線レベルの上昇による増加線量は、年間10マイクログレイ程度である。

表 2 原因別の変動パターン※¹

変動の原因		変動のパターン	変動の頻度	線量レベル
自然現象による変動	降雨 降雪	・ゆるやかな変動を持つ ・増加と減少が複雑に入り混じる	地域によって差がある （年間100回程度）	100nGy/h 程度まで及ぶ場合がある※ ²
	雷	急激に増加して急激に減少する	地域によって差がある （日本海側では冬季に多い）	
	積雪	積雪による遮へい効果	地域によって差がある	10～30nGy/h 程度減少※ ³
	その他の気象	逆転層による日周期	冬季に多い	10nGy/h 程度増加
		地表の水分による放射線の吸収		2nGy/h 程度減少※ ³
大気圏内核爆発実験		過去の核実験においては、実験の数日後に変動が現れ、一定期間は日数の経過に伴い増加を示した		経過日数が短い程増加量が大きく、2～3日後には環境放射線レベルの数倍程度まで及ぶ場合がある
医療・産業用の放射線源等		医療用放射性同位元素の存在や非破壊検査等による放射線発生装置の利用により増加を示す		
原子力施設		一定しない、特に風下方向軸で線量率に上昇があり、変動が短い周期を持つ		
測定器の特性		主として温度変化による	温度変化によって差がある（日変化・年変化）	10%程度まで及ぶ場合がある
測定器の故障		過大又は過小な値を示す		

※¹ 本表は、放射能測定法シリーズ No.17「連続モニタによる環境γ線測定法」を参照し、記載している。

※² 一時的には100nGy/h 程度まで及ぶ場合があり、降雨による増加分は年間10μGy 程度である。

また、大陸性気団を起源とする降雨の場合は増加量が大きく、海洋性気団を起源とする降雨の場合は増加量が小さい傾向がある。

※³ 自然放射性核種が環境中に支配的に存在する場合。

出典：「平常時モニタリングについて(原子力災害対策指針補足参考資料)」(令和3年12月改訂 原子力規制庁)

3 人工放射線

大気圏内の核爆発実験などにより生成される人工放射性物質は、核爆発地点の風下の広範囲の地点に気流に乗って運ばれ、地表に降下し、爆発によって成層圏まで達した後、ゆっくり対流圏に移行して地表に降下する各過程を経て、広く環境中に分散し、時間とともに減衰する。

核分裂直後は、ヨウ素131、バリウム140等の半減期の短い核種が多く、核分裂後から数年を経過するとストロンチウム90、セシウム137、プルトニウム239、トリチウムなど半減期の長いものが主体となる。

また、核爆発時、材料中の金属が爆発の際の中性子等の作用で、放射性になるものがあり、これを誘導放射性核種と呼んでいる。代表的なものとしては、マンガン54、コバルト60がある。

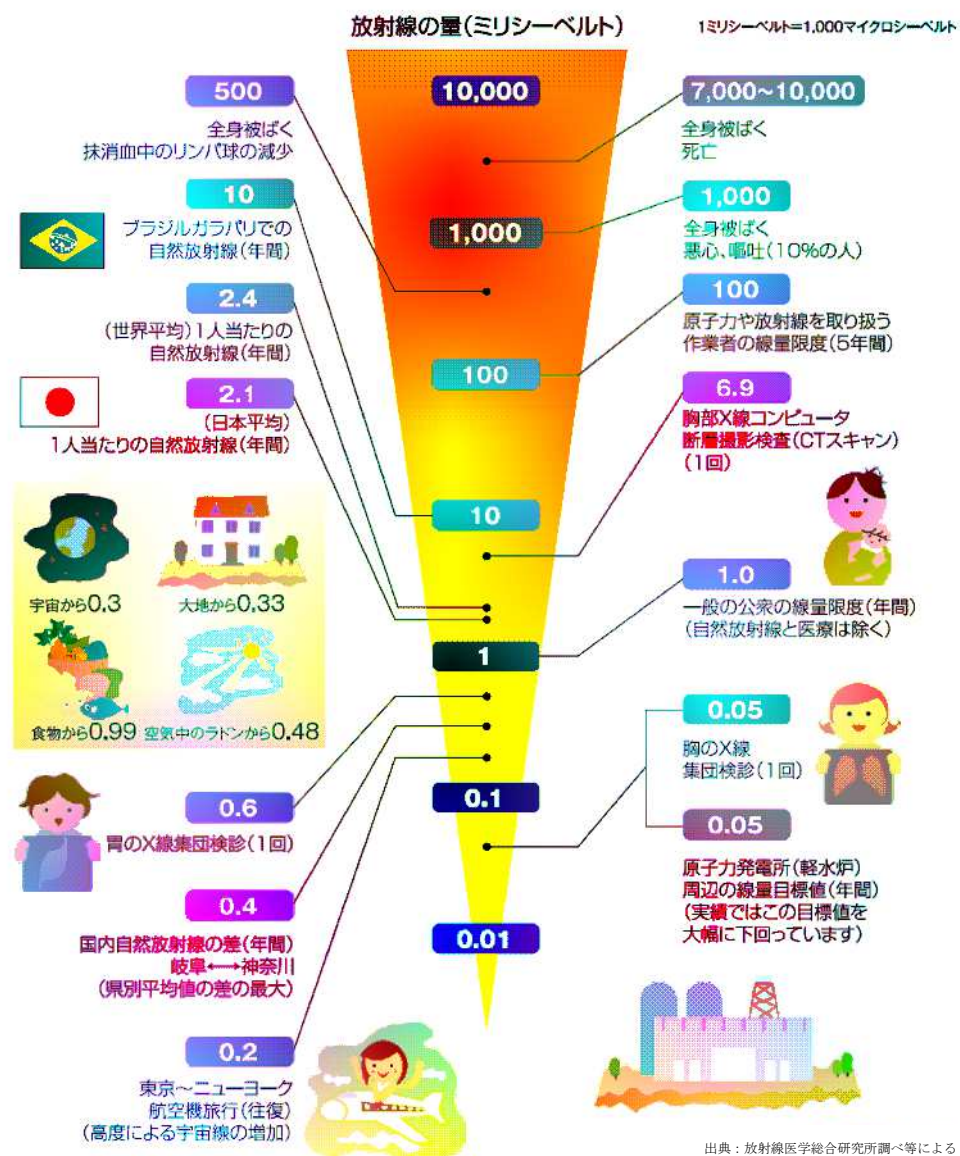


図2 日常生活と放射線

資料－５ 原子力防災対策上の各種基準

運用上の介入レベル（ＯＩＬ）と防護措置について

	基準の種類	基準の概要	初期設定値※１			防護措置の概要
緊急防護措置	ＯＩＬ１	地表面からの放射線，再浮遊した放射性物質の吸入，不注意な経口摂取による被ばく影響を防止するため，住民等を数時間内に避難や屋内退避等させるための基準	500 μ Sv/h (地上１ｍで計測した場合の空間放射線量率※２)			数時間内を目途に区域を特定し，避難等を実施。（移動が困難な者の一時屋内退避を含む）
	ＯＩＬ４	不注意な経口摂取，皮膚汚染からの外部被ばくを防止するため，除染を講じるための基準	β 線：40,000cpm ※３ (皮膚から数 cm での検出器の計数率) β 線：13,000cpm ※４【１か月後の値】 (皮膚から数 cm での検出器の計数率)			避難又は一時移転の基準に基づいて避難等した避難者等に避難退域時検査を実施して，基準を超える際は迅速に簡易除染等を実施。
早期防護措置	ＯＩＬ２	地表面からの放射線，再浮遊した放射性物質の吸入，不注意な経口摂取による被ばく影響を防止するため，地域生産物※５の摂取を制限するとともに，住民等を１週間程度内に一時移転させるための基準	20 μ Sv/h (地上１ｍで計測した場合の空間放射線量率※２)			１日内を目途に区域を特定し，地域生産物の摂取を制限するとともに，１週間程度内に一時移転を実施。
飲食物摂取制限※９	飲食物に係るスクリーニング基準	ＯＩＬ６による飲食物の摂取制限を判断する準備として，飲食物中の放射性核種濃度測定を実施すべき地域を特定する際の基準	0.5 μ Sv/h ※６ (地上１ｍで計測した場合の空間放射線量率※２)			数日内を目途に飲食物中の放射性核種濃度を測定すべき区域を特定。
	ＯＩＬ６	経口摂取による被ばく影響を防止するため，飲食物の摂取を制限する際の基準	核種※７	飲料水 牛乳・乳製品	野菜類，穀類，肉，卵，魚，その他	１週間内を目途に飲食物中の放射性核種濃度の測定と分析を行い，基準を超えるものにつき摂取制限を迅速に実施。
			放射性ヨウ素	300Bq/kg	2,000Bq/kg ※８	
			放射性セシウム	200Bq/kg	500Bq/kg	
			プルトニウム及び超ウラン元素のアルファ核種	1Bq/kg	10Bq/kg	
			ウラン	20Bq/kg	100Bq/kg	

出典：原子力災害対策指針（令和５年１１月 原子力規制委員会）

運用上の介入レベル（O I L）：放射線モニタリングなどの計測された値により，避難や屋内退避等の防護措置を実施するための判断基準

- ※1 「初期設定値」とは緊急事態当初に用いるO I Lの値であり，地上沈着した放射性核種組成が明確になった時点で必要な場合にはO I Lの初期設定値は改定される。
- ※2 本値は地上1 mで計測した場合の空間放射線量率である。実際の適用に当たっては，空間放射線量率計測機器の設置場所における線量率と地上1 mでの線量率との差異を考慮して，判断基準の値を補正する必要がある。O I L 1については，緊急時モニタリングにより得られた空間放射線量率（1時間値）がO I L 1の基準値を超えた場合，O I L 2については，空間放射線量率の時間的・空間的な変化を参照しつつ，緊急時モニタリングにより得られた空間放射線量率（1時間値）がO I L 2の基準値を超えたときから起算しておおむね1日が経過した時点の空間放射線量率（1時間値）がO I L 2の基準値を超えた場合に，防護措置の実施が必要であると判断する。
- ※3 我が国において広く用いられている β 線の入射窓面積が20cm²の検出器を利用した場合の計数率であり，表面汚染密度は約120Bq/cm²相当となる。他の計測器を使用して測定する場合には，この表面汚染密度より入射窓面積や検出効率を勘案した計数率を求める必要がある。
- ※4 ※3と同様，表面汚染密度は約40Bq/cm²相当となり，計測器の仕様が異なる場合には，計数率の換算が必要である。
- ※5 「地域生産物」とは，放出された放射性物質により直接汚染される野外で生産された食品であって，数週間以内に消費されるもの（例えば野菜，該当地域の牧草を食べた牛の乳）をいう。
- ※6 実効性を考慮して，計測場所の自然放射線によるバックグラウンドによる寄与も含めた値とする。
- ※7 その他の核種の設定の必要性も含めて今後検討する。その際，I A E AのG S G－2におけるO I L 6を参考として数値を設定する。
- ※8 根菜，芋類を除く野菜類が対象。
- ※9 I A E Aでは，飲食物摂取制限が効果的かつ効率的に行われるよう，飲食物中の放射性核種濃度の測定が開始されるまでの間の暫定的な飲食物摂取制限の実施及び当該測定の対象の決定に係る基準であるO I L 3等を設定しているが，我が国では，放射性核種濃度を測定すべき区域を特定するための基準である「飲食物に係るスクリーニング基準」を定める。

資料－6 食品衛生法上の基準

食品中の放射性物質の基準値について

食 品 群	一 般 食 品	乳児用食品	牛 乳	飲 料 水
放射性セシウム※	100Bq/kg	50Bq/kg	50Bq/kg	10Bq/kg

※ 放射性ストロンチウム，プルトニウムなどを含めて基準値を設定。

出典：厚生労働省ホームページ（https://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin-detailed.html）

発行 鹿児島県危機管理防災局原子力安全対策課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号
電話 099-286-2377